

令和 5 年度

社会福祉法人明桜会 事業計画

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

法人本部
大地の家
サポートセンター翔
サポートセンター曙
サポートセンター貴和
明石市立総合福祉センター新館地域共生社会推進事業
サポートセンター双葉
共同生活援助事業やまゆりの家
あいすくりーむの家
かいのき
すたじおぼっち
相談支援事業所オアシス
明石市障害者就労・生活支援センターあくと
明石市立木の根学園

人材確保チーム
育成・キャリアアップチーム
強度行動障害者グループホーム事業推進チーム
SDGs推進チーム

□社会福祉法人明桜会

1. 法人使命及び基本理念

【法人使命】

全ての知的障害を有している人々が、一人のかけがえのない人として豊かな生活を送ることができる地域社会をこの法人を立ち上げた明石地区手をつなぐ育成会やその他明石を中心に活動する福祉諸団体と共に育んでいく

【基本理念】

- ・ 私達のご利用者一人一人の基本的人権を尊重します
- ・ 私達のご利用者との喜びや怒り、哀しみ、楽しみ等を共有します
- ・ 私達のご利用者の成長を喜びとします
- ・ 私達のご利用者の僅かな変化も感じとれる視点と感性・センスを磨きます
- ・ 私達のご利用者の意欲を高め、障害の軽減と自己実現に向けた支援に努めます
- ・ 私達は、一人一人の生活歴や背景、障害の状況等を理解し、本人の意思を尊重しながら、可能な限り地域社会で生活できるよう支援に努めます
- ・ 地域社会と常に連携を取りながら、障害に対する理解を広げます

上記の法人使命と基本理念を踏まえ法人に与えられた社会的役割を果たしていくため、以下の方針を立て重点事業を推進していきます。

2. 方針

- (1) その人の望む暮らしの実現に向けて、ご利用者の立場に立った支援を実践する職員を育成し、様々なニーズに応じた社会資源の調整や開発を行っていく。
- (2) 地域の方々に対する障害理解の啓発に努め、障害のある方の地域生活の基盤強化を進めていく。
- (3) 行動障害を有する方の地域生活支援の充実を図るためグループホームの建設に向けた動きを構築するとともにその人材確保を計画的に進めていく。

3. 重点事業

(1) 人材確保チーム

第1期アクションプランに沿った事業展開を見越し新卒採用を計画的に進め年間通して8～10名の確保を目指す。また、中途採用についても拡充していく。

(2) 育成・キャリアアップチーム

キャリアパス制度を活用し、職員一人一人が求められる役割について理解を深め、新任、中堅、役職、それぞれの階層に応じた研修を企画実施する。

(3) 強度行動障害者グループホーム事業推進チーム

強度行動障害者に対する支援力向上を目的とした研修の企画実施、新規グループホーム開設に伴う入居者像の設定、障害特性の抽出から設計反映、持続可能な支援体制、国庫補助申請、予算案作成、入札業務、法人内外への周知理解の浸透など重点事業として位置付けて進めていく。

(4) SDGs推進チーム

SDGsで掲げられている「誰一人取り残さない持続可能な社会をつくるための17の開発目標」の

多くが法人理念や事業目標とリンクしていることから、今後もSDGsを推進するため行政等と連携し継続的に地域に根差した事業所活動を行っていく。

(5) 多様な働き方への対応

誰もが働きやすく働き続けることができる職場環境を維持するため、公平性のある持続可能な仕組みの検討を進めていくとともにICT導入を行い業務の効率化を図っていく。

(6) 重点会議の実施

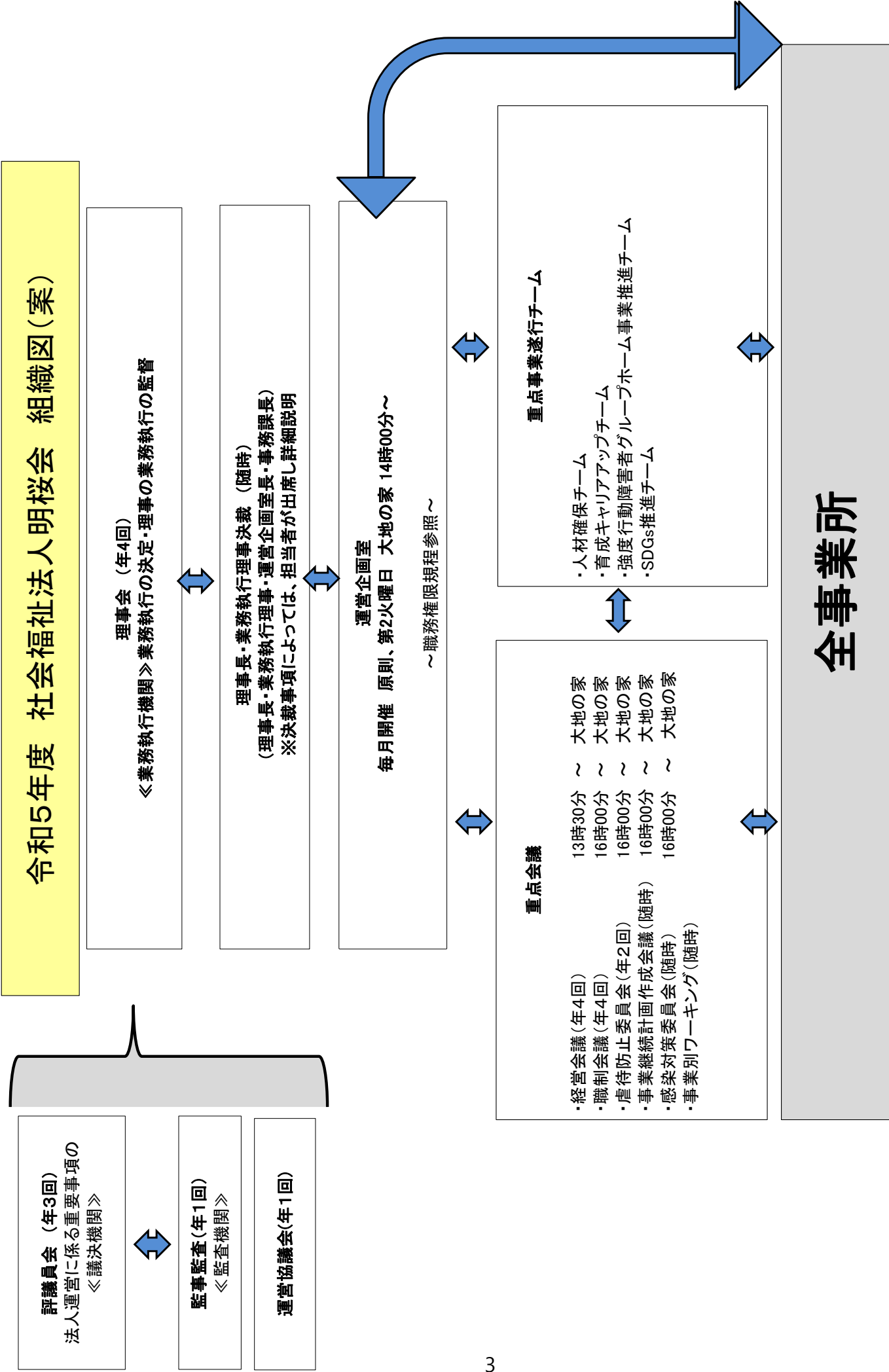
法人運営に欠かせない事を重点会議として位置付け、適時状況を共有し必要に応じて課題解決を図る体制を構築するとともに社会福祉法人として適切な運営に努めていく。

(7) 障害者スポーツ及び文化の推進

「明石市共生社会の発信拠点」である明石市立総合福祉センター新館事業、明石障がい者地域生活ケアネットワーク主催のアートシップ明石はじめ、各機関と連携を図りながら障害者スポーツ・文化活動の推進に努める。スペシャルオリンピクス日本・兵庫明石プログラムの事務局を継続して受託し、明石市における知的障害児・者のスポーツ推進をさらに進め障害者の生きがいを育むことに貢献していく。

(8) 明石市の福祉力向上に対する貢献

明石障がい者地域生活ケアネットワーク、社会福祉法人連絡協議会、明石市障害当事者等団体連絡協議会、明石市地域自立支援協議会等との連携し、明石市の福祉力向上に対して貢献していく。



令和5年度 社会福祉法人明桜会 年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考						
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	木	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	木	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	木	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	木	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考			12/2育成会クリスマス会	経営会議		
稼働日	23	22	23	22	21	23
休止日	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

令和5年度 運営企画室取り組み内容と年間スケジュール(案)

取り組み内容													
●職務権限規程参照 ・法人全体を統括管理する ・法人使命に基づき、法人事業計画案を作成する ・各事業所及び各チームの事業計画が法人の事業方針及び事業計画に沿った事業所及びチームの運営を補佐する ・各事業所職員の昇格・降格・配置転換の申請を行う ・各事業所職員の法人企画への参加を命ずること ・各事業所職員の人事評価の調整及び管理者評価を行う ●担当主催会議 経営会議(年4回)・職制会議(年4回)・虐待防止委員会(年2回)・運営協議会(年1回)・役職者研修会(年1回) 事業別ワーキング(随時)・感染対策委員会(随時)・役職者評価実施前会議(年1回)・人事検討会議(随時) ●その他新規採用試験(正規職)・昇格試験(正規登用・役職)													
年間スケジュール													
No.		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	法人動向	指令交付式 職制会議 虐待防止委員会	感染対策委員会 経営会議	監事監査 理事会・評議員会 事業・決算報告 事業別ワーキング	経営会議	理事会 チームの半期報告 職制会議	事業所ワーキング	感染対策委員会 虐待防止委員会	経営会議 運営協議会 理事会 事業所半期報告 半期会計報告・補正予算審議 職制会議	評議員会 事業別ワーキング	経営会議	職制会議	理事会・評議員会 次年度の事業計画・予算審議 事業別ワーキング
	担当業務	担当事業所ミーティング ※事業所・職務行動計画作成広報 ※事業報告作成広報 ※役職者行動評価表作成更新			担当事業所ミーティング ※半期報告作成広報(各チーム等)		※補正予算案の提出広報(管理者・事務)	担当事業所ミーティング ※管理者評価作成の広報(管理者) ※半期報告作成広報(各事業所等)		次年度法人事業計画(案)の重点方針の策定	担当事業所ミーティング ※次年度重点方針・事業の周知と併せて事業計画作成広報 ※事業所予算案確認		
③	一般職 人事評価		正規・月給職員の業績達成度目標作成								正規・月給職員の自己評価 上司評価 事業所役職者の評価確定	臨時管理者会議にて人事評価の最終確定(下旬)	結果面談の実施
	役職評価	職務行動計画作成 役職者行動評価表 モニタリング						役職者評価・面談の実施	管理者評価の実施 役職者結果面談	管理者・役職者の評価面談の実施			
	異動等							管理者に正規昇格推薦者の有無を聞き取り、候補者を選定する	全職員対象・次年度の勤務・退職希望の最終確認 正規登用昇格試験(面接)	管理者・役職者の配置案作成。理事へ長業務執行理事へ申請。 (管理者には12月中に内々示)	臨時管理者会議を開催し職員配置案作成。理事・長業務執行理事に申請。役職昇格試験(面接)	全職員向けに異動内示(月末)	
備考	主担当会議												
	経営会議(岡平) 職制会議(鳥居) 感染対策委員会(宮崎) 虐待防止委員会(鳥居) 運営協議会(吉田) 管理者・主任研修会(宮崎) 役職者評価実施前会議(三村) 人事検討会議(宮崎) 事業別ワーキング(就労:鳥居、生活:宮崎、入所:三村)												

□法人事務課

1. 概要

- (1) 部署名 法人事務課
- (2) 設置場所 明石市大久保町大窪2752-1大地の家内
- (3) 提供するサービスと利用定員
法人内14事業所(指定番号数)定員数合計421名
- (4) 職員定数
 - 課長 1名
 - 事務員(主任) 1名
 - 法人PRコーディネーター(副主任) 1名
 - 事務員(常勤) 4名

2. 基本方針

- (1) 社会福祉法人明桜会の使命と理念に則り、常にサービスの基本をご利用者主体に置き、丁寧な窓口対応を心がけます。
- (2) コンプライアンスを重視し、適切な事務処理を行います。また、行政及び関係機関と信頼関係の構築を図ります。
- (3) 積極的に研修、説明会に参加し、職員の能力開発や専門性の向上を図ります。
- (4) 法人事務課で得た情報を各事業所に発信し、スムーズな事業所運営と安定した経営基盤の強化を図ります。

3. 活動内容

- (1) 障害福祉サービス事業費及び利用料の請求受領に関する事務(月平均約1120件)
- (2) 人事労務、社会保険、福利厚生、給与、年末調整、人事データ管理等、給与・労務に関する事務(職員数291人)
- (3) 金銭出納、資金管理、租税公課、固定資産管理、予算・決算処理等、会計・経理に関する事務(法人全体1拠点、36サービス区分)
- (4) 各事業所の指定・変更申請、届出及び報酬改正に関する事務
- (5) 法人本部に関する事務(理事会・評議員会・評議員選任解任委員会・運営協議会開催に関する事務)

4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

5. 地域交流計画

事業所の行う地域交流計画の必要に応じて参加します。

6. 年間予定表(法人の年間計画参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名（法人事務課）

今年度の目標		①強度行動障害者グループホーム事業の推進 ※法人重点事業(3) ②労務 多様な働き方への対応 ※法人重点事業(5) ③財務 経営会議の充実、事業継続計画作成会議での役割遂行 ※法人重点事業(6) ④法人事務課職員の人材育成 ※法人重点事業(2)
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	国庫協議書の作成(第1期協議内容最終打ち合わせ)と提出	●令和3年度、令和4年度に引き続き法人の重点事業(3)に基づき、強度行動障害者グループホーム等新規事業について、国庫協議の最終打ち合わせまでを行う。必要な事業計画、予算、見積内容の精査、協議内容についての最終確認を行い、国へ申請する。国庫補助金以外の助成金について調べる。また、同時に大地の家の個室化に向けて、定員減による運営費の試算や人員配置の検討、実施に伴う問題の検証等、現場サイドと協力しながら進めていく。
②	【労務】働き方改革を進めながら多様な働き方への対応をさらに検討する。また、補助金申請を行い、記録システムを導入する。	●令和元年度以降、毎年年休取得率は上がっているが時間外勤務については課題がある。業務上やむをえない場合もあるが、必要に応じて管理職者に確認作業を行い、実質の職員配置等に問題がないか検証し、対応策を現場とともに考える。 ●変則勤務ができる職員の減少傾向と子育て・介護をする職員の増加傾向から暮らしをサポートする職員層の確保に課題が出てきている。職員間の公平性のある持続可能な働き方の仕組みの検討を進めていく。 ●ここ数年かけて業務の効率化に向けて記録に関するソフトの導入について検討してきたが、今年度は「令和5年度障害福祉分野のICT導入モデル事業の補助事業」を申請し、本格的に導入を進める。
③	【財務】経営会議を充実させる。また事業継続計画作成会議での役割を見出し遂行する。 10月開始のインボイス制度に対応する。	●令和元年度以降、毎年各事業所の収益への努力は上向きに数字に反映されている。各事業所の経営意識は高まっていることが明確なため、今年度も四半期ごとの経営会議の開催、毎月の予算執行状況の報告を行う。また、光熱水費、物価高による影響から経費削減努力を促していく。 ●事業継続計画作成会議では、法人事務課としての役割を遂行すべく、非常時を想定した設備、体制、リスクに対応する策をひとつひとつ明確にしていく。必要に応じて業者との折衝をしていく。 ●10月施行のインボイス制度については適格請求書や適格簡易請求書の発行や保存の準備、関係する全ての取引業者、事業者、個人商店、フリーランス等との取引についてのルールを設け、請求書・領収書・レシート等の書式の変更、レジの設定を行えるよう各事業所をサポートしていく。
④	事務職員の能力向上のための研修	●随時 外部研修会参加・働き方改革、社会福祉法人会計実務、法人運営、労務、報酬改正等 ●年1回 課内勉強会の開催 必要に応じて法人内勉強会の開催

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	強度行動障害者グループホーム事業の推進 ※法人重点事業(3)	●国庫協議書類作成 第1期協議内容の最終打ち合わせ ●大地の家の個室化に向けての検証:定員減による運営費の試算や人員配置の検討、実施に伴う問題の検証等												
②	労務 多様な働き方への対応 ※法人重点事業(5)	●働き方改革:定時退社・年休取得の推進、時間外勤務の削減 ●記録システムの導入作業「令和5年度障害福祉分野のICT導入モデル事業の補助事業」申請～報告 ●多様な働き方を模索するための資料集めと検討、運営企画室との情報共有を図り、問題解決の糸口を探る。 ●就業規則・協定類届出 ●処遇改善加算報告 ●処遇改善加算画届												
③	財務 経営会議の充実・事業継続計画作成会議での役割遂行 ※法人重点事業(6)	●請求業務～加算の根拠の状況確認、人員配置の確認 ●会計業務～毎月の予算執行状況報告・利用率報告 ●補助金・助成金申請・報告 ●加算の届出 ●経営会議 ●経営会議 ●指定・変更申請 ●経営会議												
	経理 インボイス制度の対応	●インボイス対応(適格請求書発行・保存の準備、書式変更、取引業者とのルール決め、レジ設定) ●10月スタート 進捗状況の確認とフォロー												
④	事務職員の能力向上のための研修	●随時 外部研修会参加:働き方改革、社会福祉法人会計実務、法人運営、労務、報酬改正等 ●年1回 課内勉強会の開催 必要に応じて法人内勉強会の開催												

令和5年度事業所事業計画書

事業所名 (PRコーディネーター)

今年度の目標		明桜会の理解者・応援者を増やすことで、ご利用者の社会参加を促し地域と明桜会をつなぐ架け橋となる。
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	明桜会サポーターの周知と、継続率の維持・向上を図る。	・明桜会サポーターの案内パンフレットの設置個所を増やす。 ・”サポーター募集中”の広報を定期的に行う。 ・サポーターの方々に「Mマガ」「年次報告書」を届け、明桜会の取組みや新規事業の進捗状況報告を行う。
②	ご利用者の社会参加の機会づくりを行う。	・地域や人とのつながりから、ご利用者の社会参加を促し地域の方との交流機会をつくる。 ・地域のニーズを知り、明桜会がどう関わっていけるのかを考える。
③	明桜会の取組みの広報活動を行う。	・法人/PJチームの取組みについて情報収集し、理解する。 ・様々な広報ツールを活用し、情報発信を行う。 ・法人理念に沿った情報発信を行うことで、理念の内部浸透を図る。

行動計画 事業所名（ PRコーディネーター ）

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	明桜会サポーターの周知と、継続率の維持・向上を図る。	・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行 ・「Mマガ」発行											
②	ご利用者の社会参加の機会づくりを行う。	●大久保自治会、大久保まち協（まち友）への参画 ●地域にあるインフォーマルな資源の開拓、人とのつながりづくり											
③	明桜会の取組みの広報活動を行う。	●法人・PJチームの取組みを知るための情報収集 ●ブログ、SNS、広報誌を活用し、情報発信を行う											
④													

□大地の家

1. 施設概要

- (1) 事業所名 障害者支援施設大地の家
- (2) 設置場所 明石市大久保町大窪2752-1
- (3) 提供するサービスと利用者定員
利用者定員
施設入所支援 40名
生活介護 40名 48名(登録者)
短期入所 6名
日中一時支援 6名
- (4) 職員配置
管理者 1名
サービス管理責任者 1名(主任)
副主任(生活支援員) 3名
協力医 1名
看護師 1名
栄養士 1名
清掃員 1名
運転手 1名
生活支援員 25名(常勤換算26.3名予定)
事務員 7名(法人事務課含む)

2. 基本方針

- ・ 一人一人の想いや希望を確認し叶えていくための方法をご利用者と一緒に考え実現していく。
- ・ 職員はご利用者の視点に立った支援を実践していく。

3. 活動内容

- (1) 個別ニーズや特性に応じた日中活動の提供
 - ・ 体力づくりや創作活動、外出活動や余暇活動など、ご利用者のニーズに沿った活動を行っていく。
- (2) 地域との交流を意識した活動の実施
 - ・ 近隣公園の清掃や園芸活動、孤立化する地域の高齢者に対するふれあい活動や自治会行事に対しご利用者と共に積極的に参画していく。
 - ・ 地域のボランティアを継続利用していくとともに移動支援などのフォーマルなサービスも活用し、ご利用者の望む暮らしの実現につなげていく。
- (3) 大地の家の個室化(地域移行)に向けた活動の実施
 - ・ ご利用者中心に「将来、どこで誰とどうやって暮らしていくか」を一緒に考え、その人らしい暮らし方を夢マップや個別支援計画に反映させていく。
 - ・ 家族会等を対象に、重度障害者のグループホームでの暮らしを知る機会を提供していく。
- (4) 健康管理に関する活動の実施
 - ・ 内科検診(6回/年)
 - ・ 健康診断(2回/年)
 - ・ 救急想定訓練救急法講習(2回/年)
- (5) 人材育成に関する取り組みの実施
 - ・ 新人及び異動者等に対するOJTを担当者を決めて計画的に実施する。
 - ・ OJT担当者へのスーパーバイズを役職者が計画的に実施する。
 - ・ 役職者と担当者で定期的に夢マップの更新を行い、その人の望む暮らしの実現に向けたコ

ーディネートが出来る人材を育成する。

(6) 委員会活動

施設運営上必須となる事項を委員会として設置し計画的に活動していく。

① 虐待防止、身体拘束適正化委員会

② 医務、感染、通院対策委員会

③ 危険察知委員会

(7) その他

- ・ 大地の家の個室化に向けた体制整備期間中は、定員に空きが生じても原則新規入所者の公募は実施しない。
- ・ 高騰する物価高に対応できるよう、給食提供の在り方等について随時検討する機会を設ける。

4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

5. 地域交流計画

- (1) コットンベールを通して地域の方との交流を深める機会を提供していく。
- (2) 地域でのイベントを通し交流を深める機会を提供していく。
 - ・ 大久保駅前夏祭り、パレット祭り、ふれあい給食の実施等。
- (3) 食を通した地域との交流(キッチンコミュニケーション)や高丘地区のふれあいサロン等は継続してご利用者が参画していく。

6. 防災・防犯計画

- ・ 避難訓練月/1回。年/1回の消防署立会い訓練を実施する。
- ・ 明石市協定による福祉避難所としての機能を果たす。

7. 年間予定(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名（ 大地の家 ）

今年度の目標		ご利用者の想いや希望を確認し、叶えていくための方法をご利用者と一緒に考え実現していきます。
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	一人一人の夢マップを更新します。	各担当がご本人・ご家族・職員等から「その人の望む暮らし」について聞き取りをします。 長期目標、短期目標など、ご本人に分かりやすい形で提示し同意を得ます。（個別支援計画に反映） 役職者や他の職員と実現可能な事を検討しご本人と一緒に計画します。
②	職員はご利用者の視点に立った支援を実践します。	毎日の朝礼で「ご利用者の視点に立つて行う事」を具体的に確認します。 OJT担当者及び役職者はご利用者の視点に立った支援が提供されているかを定期的に確認します。
③	ご家族・ご利用者・職員が交流を図る機会を提供します。	以下の点を要所として年4回ご家族を対象とした行事を提供します。 ・大地の家の年間の運営方針や予定などをご家族と共有する。新人職員、担当職員紹介、活動報告等 ・ご家族を対象とした学習会を企画・実施します。（グループホームor成年後見制度） ・ご利用者や職員とご家族が交流を図る機会を作り、施設に対するご意見等をお聞きする。

行動計画 事業所名（大地の家）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	一人一人の夢マップを更新します。		アセスメントシート作成	ヒヤリング開始	夢マップ完成・個別支援計画へ反映	フェイスシート更新							夢マップ成果確認（役職者・担当）	夢マップ取り組み・広報誌発刊
			随時、個別ニーズに沿った活動・支援の提供											
②	職員はご利用者の視点に立った支援を実践します。		1期毎に役職者及びOJTが個別で振り返る 毎日の朝礼時に、職員はご利用者の視点に立って何をするかを考えてから支援を行うようにする。 必要に応じて男子会・女子会・支援会議等を行い、ご利用者の視点について共有を図る。											
③	ご家族・ご利用者・職員が交流を図る機会を提供します。		4月：今年度の活動予定、運営方針伝達、職員紹介等 居室整理など 7月：ご家族向け学習会、居室整理など 10月：ご家族、ご利用者、職員運動会、居室整理など 3月：年度末報告会、ご家族座談会、居室整理など											

令和5年度 社会福祉法人明桜会 大地の家 年間予定表(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	土	月	木	土	火	金	日	水	金	冬季プロ	木	金
2	日	火	金	日	水	土	月	木	土	冬季プロ	金	土
3	月	水	土	月	木	日	火	金	日	節分	土	日
4	火	木	日	火	金	月	水	土	月	新年会	日	月
5	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	火
6	木	土	火	木	日	水	金	月	水	開所日	火	水
7	金	日	水	金	月	木	土	火	木	成人の日	水	木
8	土	月	木	土	火	金	日	水	金	定例会議	木	金
9	日	火	金	日	水	土	月	木	土	開所日	金	土
10	月	水	土	月	木	日	火	金	日	開所日	土	日
11	火	木	日	火	金	月	水	土	月	建国記念日	日	月
12	水	金	月	水	土	火	木	日	火	役職者会議	月	火
13	木	土	火	木	日	水	金	月	水	開所日	火	水
14	金	月	水	金	月	木	土	火	木	役職者会議	水	木
15	土	火	木	土	火	金	日	水	金	訪問歯科	木	金
16	日	水	金	日	水	土	月	木	土	役職者会議	金	土
17	月	木	土	月	木	日	火	金	日	開所日	土	日
18	火	金	月	火	金	月	水	土	月	開所日	日	月
19	水	土	火	水	土	火	木	日	火	金	月	火
20	木	日	水	木	日	水	金	月	土	水	火	水
21	金	月	木	金	月	木	土	火	木	水	木	木
22	土	火	金	土	火	金	日	水	金	訪問歯科	金	金
23	日	水	土	日	水	土	月	木	土	天皇誕生日	金	土
24	月	木	日	月	木	日	火	金	日	土	土	日
25	火	金	月	火	金	月	水	土	月	職員会議・クリスマス会	日	月
26	水	土	火	水	土	火	木	日	火	訪問歯科	月	火
27	木	日	水	木	日	水	金	月	水	職員会議・夢マップ会議	火	水
28	金	月	木	金	月	木	土	火	土	開所日	水	木
29	土	火	金	土	火	金	日	水	金	お疲れ様会	木	金
30	日	水	土	日	水	土	月	木	土	訪問歯科	金	土
31	月	木	日	月	木	日	火	金	日	職員会議・夢マップ会議	火	日
備考	健康診断 インフルエンザ ザワクチャン接種											
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9	9	9	10	10	8	9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	金	月	火	金	月
19	水	土	火	水	土	火
20	木	日	水	木	日	水
21	金	月	木	金	月	木
22	土	火	金	土	火	金
23	日	水	土	日	水	土
24	月	木	日	月	木	日
25	火	金	月	火	金	月
26	水	土	火	水	土	火
27	木	日	水	木	日	水
28	金	月	木	金	月	木
29	土	火	金	土	火	金
30	日	水	土	日	水	土
31	月	木	日	月	木	日
備考	健康診断 内科検診					
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

□サポートセンター翔

1. 施設概要

- (1) 事業所名 サポートセンター翔
- (2) 設置場所 兵庫県明石市魚住町長坂寺740
- (3) 提供するサービスと利用定員
 - 生活介護 60名
 - 短期入所 3名
- (4) 職員定数
 - 管理者 1名
 - サービス管理責任者 1名
 - 生活支援員 34名予定
 - 看護師 1名
 - 機能訓練指導員 1名
 - 事務員 1名
 - 嘱託医 1名

2. 基本方針

- (1) ご利用者一人一人が個々の状況に応じた様々な日中活動を楽しみ、主体的な活動参加を大切にします。
- (2) 障害特性に応じた療育環境の整備を図り、一人一人に適した過ごし方が出来る様努めます。
- (3) 職員に様々な研修の機会を設け、専門性と共に人間性の育成も含めた資質向上を図ります。
- (4) 近隣の多様な社会資源と連携を図りながら、障害のある方達の地域生活の実現に努めます。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 利用者支援
 - ① 構造化や視覚化等も取り入れた個別支援の充実を図る。
 - ③ 社会資源を活用したプログラムも工夫し、幅広い活動プログラムを提供する。
 - ④ 行事計画について季節感のある取り組みや、新たな社会体験に繋がる様な企画も実施する。
 - ④ 地域活動については、事業所から地域に向けた取り組みを試行し、地域の方達との交流の機会を増やす。
 - ⑤ ご家族等と日々の細かな情報交換等を通じてご利用者の健康維持に努める。(健康診断・インフルエンザ予防接種等の実施)
 - ⑥ 相談支援事業所や地域の多様な社会資源と連携しながら支援に取り組む。
 - ⑦ 短期入所事業については、社会自立の促進と、擁護者のレスパイトのために継続して取り組む。
- (2) 職員関係
 - ① 外部研修への参加と共に、事業所内でも研修会の開催を通じて職員の資質向上を図る。
 - ② 職員のメンタルチェックや定期的なモニタリングを通じてストレスマネジメントに繋げる。
 - ③ IT機器を活用した事務の効率化や定時退社を推進する。
- (3) 各種委員会活動
 - ① 虐待防止委員会:毎月開催。定期的なチェックシートでのモニタリングや研修会を実施し、虐待防止体制を整備する。
 - ② 感染症対策委員会:感染症に対する予防や有事対応の備えを整える。

- ③ 安全衛生委員会：年5回開催。ヒヤリハット・事故事例を検証し、安全安心なサービス提供に繋げる。
- (4) 地域交流計画
 - ① 事業所の広報誌を作成し、地域交流活動時及び特別支援学校に対しては実習時や見学時等に活用する。
 - ② 社会福祉士相談援助実習・保育実習等を受入れ、今後の人材育成や新卒採用に繋げる。
 - ③ 魚住東地区社会協議会、錦が丘まちづくり協議会、魚住まちづくり協議会、135Eネット、ほっとかへんネット等の活動に連動する。
- (5) 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名(サポートセンター翔)

今年度の目標		安定した事業運営と共に、ご利用者一人一人がいきいきと日中活動に参加できるように取り組む。
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	ご利用者の安心・安全を確保するための委員会活動と会議の充実 実	・虐待防止委員会については、定期に自己チェックシートを実施し、全体状況の把握や分析、事業所内研修会(ワーキング)も実施することで、虐待防止体制を強化する。 ・安全衛生委員会については、過去も含んだ事故報告の検証やヒヤリハット事例の検討等を行いリスク回避に向けた情報発信を行う。 ・職域別会議を行い、各職域スタッフと支援員との連携を強化する。
②	勉強会の実施 各種研修会への参加 ストレスマネジメントの実施	・ご利用者の思いを汲み取る技術や知識を学べる研修会への参加と共に、事業所内でも「ご利用者主体」の勉強会や研修報告会を行い、職員の支援力とチームワークの向上を図る。 ・職員のメンタルチェックを行い、抱えている悩みや困りごとに対して、フォローが出来る体制を構築する。また、定期面談等でもモチベーションチェックを行い課題があれば個別にサポートする。
③	新たな活動プログラムの展開と 環境の整備	・構造化や視覚化等を取り入れた活動場所やプログラムを工夫し、個々のご利用者が活動しやすく、落ち着いて過ごせる環境整備を行う。 ・コロナ禍により縮小していた地域の社会資源を活用したプログラム展開や、地域に向けた活動、ご利用者の活動意欲が反映できる新たな作業課題の開拓等も行いながら日中活動の充実を図る。
④	事業所が主催した家族懇談会の 実施	・年2回(7・12月)事業所主催の家族懇談会を開催し、事業所の活動報告・事業所からのお知らせを行う。また、必要に応じて勉強会の実施も検討する。

行動計画 事業所名（サポートセンター翔）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	虐待防止委員会		委員会は毎月開催、5・7・9・11月は自己チェック実施、12月に集計・分析、1月に研修会を実施											
①	安全衛生委員会 職域別会議		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	勉強会		「利用者主体」をテーマとした勉強会を年間を通して6回以上は開催											
②	職員のメンタルチェック 個別面談でのモニタリング		実施	実施	実施	個別面談 正規・パート	実施	個別面談 正規	実施	個別面談 正規・パート	個別面談 正規・パート	実施	個別面談 正規・パート	個別面談 正規・パート
③	日中プログラムの整備 (地域活動も含む) 活動環境の整備		班会議等での 意見抽出	日中プログラム 仮案	新たな日中プログラ ム開始	モニタ リング	調整後 日中プログラム	備品配置等の準備	環境調整	環境調整	環境調整	環境調整	環境調整	環境調整
④	家族懇談会の実施		実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

令和5年度 社会福祉法人明桜会 サポートセンター翔 年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考	新年度式 工賃支給月		避難訓練	工賃支給月	健康診断 お疲れ様会 (夏)	避難訓練
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	土	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	土	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	土	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	土	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考	工賃支給月 歯科検診 障害者交流運 動会 お疲れ様会 (秋)	避難訓練 インフルエンザ 予防 接種	12/2育成会ク リスマス会 お疲れ様会 (冬)	工賃支給月		お疲れ様会
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□サポートセンター曙

1. 施設概要

- (1) 事業所名 サポートセンター曙
- (2) 設置場所 兵庫県明石市大久保町西脇726
- (3) 提供するサービスと利用定員
就労移行支援事業所こねくと 15名
- (4) 職員定数
管理者 1名
サービス管理責任者 1名(副主任兼務)
就労支援員 1名
職業指導員 1名
生活支援員 2名(1.5名)
心理士 1名(0.1名)

2. 基本方針

- (1) その人に合わせた職場開拓を実施し、ご家族の思いやご利用者に応じた就労先を提供していく。
- (2) 働くために・働き続けるために必要な職業生活を支える支援を関係機関と連携し行う。
- (3) 働くことは生活の一部であることを理解し、就労を支える充実した暮らしを模索していく。
- (4) 他者との比較ではなく、ご本人の頑張りを認め・励ますように日々声かけを実施する。

3. 活動内容

- (1) 作業(内・外)活動や企業実習・座学・SST・個別面談等をととして就労に必要なスキルの積重ねをしていく。
- (2) 個々に応じた就労先を提供し、就労後においても職業生活も含めた就労支援を進める。
- (3) 就労者講演会を年4回実施し、ご利用者の意識向上を図るとともにご家族への就労現状を伝える機会をつくる。
- (4) 特別支援学校や地域の中学校との交流を図り、「親子体験実習」の実施や「就労セミナー」を随時開催する。
- (5) 就労のタイミングで就労定着支援事業サービスをご紹介します、就労後もご利用者やご家族の安心をしていただけるよう半年後に向けた案内をしていく。
- (6) 就労者OB会を実施し、継続就労をたたえとともに、仲間同士の親睦を図る。

4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

5. 地域交流計画

上西厚生館芋ほり
障害者交流運動会
地域交流農園「ぴあファーム」参加
自立支援協議会
東播磨障害者施設ネットワーク
山手地区社会福祉協議会・山手校区まちづくり協議会

6. 防犯・防災計画

避難訓練1回/3ヶ月
法人全体避難訓練1回/年

7. 年間予定表(別紙参照)

今年度の目標		就労移行支援事業所として、「共生社会の実現に向け障がいのある人も共に生きる社会実現」を目標とする。 働くことで生活を楽しみ、働くことで暮らしを守っていきけるように職業生活全般の支援を実施する。
優先度	目標達成のために実施する事	具体的方法
①	雇用前実習に向けて多彩な職場体験の場の確保に努める。	職場開拓による情報収集を行い、主にサービス利用2年目のご利用者を中心に中間的評価としての体験実習の場を積極的に提供し、安心して社会へチャレンジできるようにする。(一人3社以上実施)
②	「働く準備としての校外学習」「夏休み親子体験実習」を実施し、はたらくことを身近に感じていただく。	近隣中学(現在2校)の特別支援学級との校外学習を実施し、「はたらく準備」としての交流学习を実施する。また夏休みを利用して親子体験実習を実施し地域の特別支援学校との交流を深め、生徒様ご家族への情報発信と明桜会としての就労移行支援サービスの啓発に努める。(年3回程度)
③	多機能型としての機能を活用し、日中活動プログラムの選択肢を増やし、ご利用者の就労へのモチベーションを保てるような機会を作っていく。	継続B型プログラムを共有し食品製造・配達・イベント販売などの機会をとおして働く場面を増やし、ご利用者個々のスキルアップにつなげていく。
④	ご家族に向け「はたらく・働き続ける」ことを発信するとともに、「社会で働くことのイメージづくり」を実施する。	従来の保護者会に代わって「家族教室」として保護者様・ご利用者に向け「就労者講演会」を実施し、親子で就労について考えていただく機会を提供する。(年2回程度)

事業所名(就労移行支援事業所 こねくと)

年間行動計画

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	就労に向けた職場体験実習・雇用に向けた雇用前実習を計画的に実施。		事業計画確認											今年度の就労者の確認と次年度受け入れ確認
②	見学・体験実習の実施。		日程・内容確認		親子体験実習案内と準備	親子体験実習・地域中学校との交流授業			地域中学校との交流授業		地域中学校との交流授業			雇用前実習(2年目在籍者)振返りと次年度予定
③	啓発活動としての「働く準備」「働くためのイメージづくり」の啓発イベント実施。		日程・内容確認		第一回施設内講演実施	第一回就労セミナー実施			第二回施設内講演実施		第二回就労セミナー実施			今年度振返りと次年度の取り組み確認
④	一体型としての日中活動を随時実施。		←											→
														衛生管理の学習・対面販売の経験等 (作業体験・イベント販売・配達でのしごと場面の共有)

□サポートセンター曙

1. 施設概要

- (1) 事業所名 サポートセンター曙
- (2) 設置場所 兵庫県明石市大久保町西脇726
- (3) 提供するサービスと利用定員
就労継続支援B型事業所のぞみ
20名
- (4) 職員定数
管理者 1名
サービス管理責任者
1名
職業指導員 1名
生活支援員 3名(3.8名)

2. 基本方針

- (1) できるだけご利用者が希望する作業活動を提供し、働くことでの充実感を実感できるように支援をする。
- (2) 地域農園「ぴあファーム」の収穫・販売、合わせてクッキーの販売も含め工賃向上とともに地域住民との交流を図る。
- (3) 近隣保育所・高齢者施設への商品PRを行い販売・配達をととして地域理解を進める。
- (4) 地域の学校や福祉サービス利用者等の見学受入れ、支援学校からの親子体験実習を積極的に受け入れ、活動を広く知っていただく。

3. 活動内容

- (1) 菓子製造販売、配達、農作業、内職作業等を通して働くことの充実感と工賃向上を目的とする。
- (2) 工賃向上に向け地域の保育所・高齢者施設へリーフレットの配布や訪問販売を実施していく。
- (3) 地域のイベント販売へ積極的に参加し、自主製品をととして地域交流に努める。
- (4) 夏休み期間を利用して、ご家族にB型福祉サービスを知っていただくための見学・体験実習を実施し知っていただく機会とする。

4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

5. 地域交流計画

上西厚生館芋ほり
障害者交流運動会
育成会クリスマス会
自立支援協議会
東播磨障害者施設ネットワークの活動に参加
山手地区社会福祉協議会/山手校区まちづくり協議会の活動に参加(ぴあファーム・やまてまつり等)

6. 防災・防犯計画

避難訓練1回/3ヶ月
山手地区防災訓練(1.17)参加

7. 年間予定表(別紙参照)

今年度の目標		「就労継続支援として就労の場の提供また生産活動の場の提供をしていく」。 目標に向け個々に応じて達成感を感じられるような日中活動と作業工賃の向上を意識した生産・販売を実施する。 （クッキー・野菜・軽作業等） また活動をとおりて学校・福祉との連携を図り、地域交流を進めて行く。
優先度	目標達成のために実施する事	具体的方法
①	多機能型としての強みを活かし、個々のニーズに応じた活動を提供していく。また一般就労をめざし就労移行への移動も視野に入れたサービス提供をしていく。	活動の選択肢を増やし、ご本人が取り組みたい作業を選んでいただく場を増やし自信を持っていただく。また就労移行のプログラムに体験参加し、「就労」を知っていただく機会とする。
②	内職作業や販売活動を充実させていき工賃向上を意識する。	地域への商品PRや地域イベント販売へ積極的に参加し、売り上げを確保していく。目標としては ※昨年度 以上の工賃収入を目標とし作業活動を充実させていく。また原材料の物価上昇に伴い価格の見直しも工夫・検討をしていく。 ※参考としてR4.12月末月一人約6,600円
③	地域との交流を深める。	地域の農園「ぴあファーム」での協働活動(収穫・販売)を通じて働く場の確保をしていく。また近隣の高齢者施設や保育所等への商品PRを行い、のぞみの活動を広めていく。 昨年度より新たに繋がった西大窪厚生館での定期的な販売活動を通じて新たな地域展開を図っていく。
④	夏休み親子体験実習や近隣中学校との交流授業を実施し、将来の進路選択に生かしていただく機会とする。	夏休みの親子体験実習の案内エリアの拡大、特別支援学級生徒との交流(見学・作業・イベント販売等)を進めることで生徒やご家族にも活動を知っていただき、進路の選択肢としての機会を提供する。
⑤	家族サービスの充実として。	年2回以上を目安として従来の保護者会に代ってご家族との懇親会を実施し、事業所の現状やレクレーション・販売活動の報告をさせていただくと同時に、他福祉サービスの紹介や健康・生活支援等、ご家族にとつての将来的な不安に対する懇親会を実施し安心して通っていただけるようにする。

No.	項目 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	活動の選択肢を増やしていく	← 作業の共有を随時実施。就労移行体験も無理のない範囲で実施しゆるやかなチャレンジを実施。 →											
②	内職作業や販売活動を充実させていき工賃向上を意識をしていく。	←	クッキー製造販売・農園作業・明石焼き粉材料のセットアップ・施設外作業(博由園除草作業)										→
③	地域の農園作業に参加し、地域の方と共有する機会を活用し「のぞみ」を多くの人にPRしていく。	←	地域農園作業(ピアファーム)での交流イベントの参加 ・イベント販売など地域活動に参加										→
④	夏休み親子体験実習や近隣中学校との交流授業を実施し、将来の進路選択に生かしていただく機会とする。	日程・内容 確認		親子体験 実習案内と 準備	親子体験実習・地域中 学校との交流授業			地域中学 校との交流 授業		地域中学 校との交流 授業		振り返りと次年度予定	

□サポートセンター曙

1. 施設概要

- (1) 事業所名 サポートセンター曙
- (2) 設置場所 兵庫県明石市大久保町西脇726
- (3) 提供するサービスと利用定員
就労定着支援事業所こねくと
20名(過去3年間の就労実績による)
- (4) 職員定数
管理者 1名
サービス管理責任者
 1名
就労定着支援員
 1名(1.0)

2. 基本方針

- (1) 職業生活に伴う生活面全般の課題に対して企業や自宅等への訪問や電話・来所相談をとおし
てその人に応じた継続支援を行う。(生活リズム・家計(浪費)・体調管理・遅刻・欠勤・身だしな
み・マナー・投薬管理等)
- (2) 就労定着支援該当者(契約者)は就労6ヶ月後の3年間をサービス期間とし、ご家族・企業と情報
共有をしながら課題解決に努める。
- (3) 定期的な面談(月1回以上)を通じて生活面の課題や仕事面での不安を把握し解決を促し、ご本
人・ご家族・企業への安心を提供し障害者就労を拡大していく。

3. 活動内容

- (1) 訪問面談・電話相談・メール(ライン相談)等、状況に応じて継続のための就労定着支援を展開し
ていく。
- (2) 企業担当者と連携し、ご利用者の障害特性に対する配慮が必要な場面の提示やご家庭への協
力依頼等随時お伝えてしていく。
- (3) 余暇活動として月1回「就労者の集い」を実施し、サービス利用者の集まる場、また語らいの場と
して気分転換や職場を離れての会話を楽しむ時間とする。

4. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

5. 地域交流計画

地域イベントへの参加
明石市総合福祉センター新館でのスポーツ活動

6. 年間予定表(別紙参照)

就職後7ヵ月目から3年間のサービス(月一回以上の面談)を実施し安定した継続就労を目的として実施する。 より良い支援サービスに向け、年1～2回家族懇談会を実施し、ご家族の安心と企業との信頼関係を構築させていく。またご利用者と一緒に休日の過ごし方を共有し、月一回の「集い」をとおして生活の楽しみを増やしていく。	今年度の目標
---	----------------------

	目 標 達 成 の た め に 実 施 す る 事	具体的な方法
①	定着支援サービスを他施設も含め広くPRしていく。	基本としてこねくとより雇用決定を受けた時点でご家族への福祉サービスのご案内をしていく。また会議・研修等に参加しこねくとの定着支援を知っていただき、他施設の就労移行支援事業所からの利用をしていただけるようにPRをしていく。
②	就労場面や環境の紹介も含めご家族に「観て」理解していただく機会をつくる。	「就労定着支援サービス」の状況を画像で知っていただき、どんなところでどんな仕事をされているのか、日々のご家族への報告がイメージしやすい様に工夫をしていく。
③	面談を実施するうえで個々に応じた対応を実施していく。	面談内容や面談場面(場所・人)など気持ちに余裕を持ち話しやすい環境を設定し、話すことで気分転換を図れるような工夫を考える。
④	こねくとOBとの仲間意識と気分転換を図り、仲間同士の情報共有の場とする。	基本月一回、「食べる」「遊ぶ」「話す」「散策する」をとおして仕事を離れた関係の中で気持ちを引き出し、定着面談の際の会話を充実させていき安定した継続就労につなげていく。またこねくととの合同レクリエーションを楽しむことで互いに刺激を受ける場面とする。

事業所名（ 就労定着支援事業所 こねくと ）

年間行動計画

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	定着支援サービスを他施設も含め広くPRしていく。		← 外部会議、研修の機会を利用して啓発事業をとおしてPRを促す。 →											
②	就労場面や環境の紹介も含めご家族に「観て」理解していただく機会をつくる。					第1回定着セミナー				第2回定着セミナー				振り返りと次年度計画
③	面談を実施するうえで個々に応じた対応を実施していく。		← ご利用者にとって安心できる面談環境を設定し、気持ちを引き出す。 →											
④	こねくとOBとの仲間意識と気分転換を図り、仲間同士の情報共有の場とする。		←基本、月に1回(月末土曜日)休日を利用したレクレーションを実施。今後の仲間同士の休日利用の機会を提案していく。→											

令和5年度 社会福祉法人明桜会 サポートセンター曙 年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考	入所式 レクレーション	レクレーション	施設内親子講演会 日帰り旅行(こねくと)	親子体験・地域中学校交流授業 第一回定着セミナー レクレーション	親子体験・第一回就労セミナー レクレーション	レクレーション 日帰り旅行(のぞみ)
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	土	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	土	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	土	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	土	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考	地域中学校交流授業・施設内親子講演会 レクレーション	第2回定着セミナー レクレーション	第3回就労セミナー・地域中学校交流授業 レクレーション 施設内クリスマス会	レクレーション	レクレーション 就労者08会(予定)	レクレーション 年度末慰労会
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□サポートセンター貴和

1. 施設概要

- (1) 事業所名 サポートセンター貴和
- (2) 設置場所 兵庫県明石市田町2丁目3-3
- (3) 提供するサービスと利用定員
就労継続支援B型
25名
- (4) 職員定数
管理者 1名(兼務)
サービス管理責任者
1名
職業指導員 1名(常勤)
生活支援員 3名

2. 基本方針

- (1) 一人一人に合った活動を提供し、充実した毎日を過ごせることを大切にします。
- (2) 一人一人が役割を持ち、協力して目標を達成することでお互いの存在を認め合えることを大切にします。
- (3) 活動支援のみでなく、個々のニーズに合った相談支援、生活支援、家族支援も大切にします。
- (4) 新館の活動を通して地域の方々との交流を大切にし、共生社会の実現に貢献できることを目指します。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 作業活動(下請け活動:アンテナ部品組立作業、値札付け作業、缶バッジ部品組立作業、タオル畳み作業、部品梱包作業、電子部品加工、自主生産作業、公園灌水花植え、新館清掃)
- (2) 余暇活動(季節行事、誕生会、日帰り旅行、クリスマス会、お疲れ様会)
- (3) 実習生の受け入れ(特別支援学校実習、介護等体験実習、保育実習、親子体験会)
- (4) 防災活動(火災・地震・水害避難訓練、シェイクアウト訓練-1月)
- (5) 健康管理(健康診断・歯科検診-10月)
- (6) 活動時間
 - ① 利用者活動時間
 - 9:00～ 朝礼
 - 9:15～ 作業活動(10:30休憩)
 - 12:00～ 昼食
 - 13:00～ 作業活動(14:15休憩)
 - 15:15～ 掃除
 - 15:30～ 終礼
 - 16:00 退所
 - ② 新館清掃作業活動時間
 - 9:00～ 作業準備
 - 9:05～ 清掃作業(10:30休憩)
 - 12:30～ 昼食
 - 13:30～ 清掃作業(14:30休憩)
 - 15:50～ 片付け
 - 16:00 退館

5. 地域交流計画

- (1) 近隣の清掃活動
- (2) 上西厚生館芋ほり
- (2) 衣川コミセンの活動への参加
- (3) 林小学校区総合防災訓練への参加
- (4) 新館スポーツ教室等への参加

6. 年間予定表(別紙参照)

事業所名（サポートセンター貴和）

今年度の目標		多様なニーズへの対応 ・事業所の魅力向上 ・新館事業の発展と地域との繋がりの構築 ・家族サービスの充実
優先度	目標達成のために実施する事	具体的な方法
①	在籍利用者への定着支援	在籍利用者の長期利用・高齢化も進んできていることから、生活面全般においての支援が必要となってきた。可能な限りサポートセンター貴和への通所が継続できるよう、相談支援の機会を設け多様なニーズに対応していく。 サービス更新面談時にアセスメントを行い、フェースシートの整理と更新を行う。 作業提供のみではなく、個のニーズに合わせた余暇・創作活動、ユニバーサルスポーツの機会を提供する。 ケース検討、研修等への参加から障害特性への理解を育み、スタッフの支援力を向上させる。
②	新規利用者の獲得 作業活動の確保と充実 余暇活動の充実	定員（25名）に到達していないことから、新規ご利用者の獲得を目指す。 ここ数年特別支援学校卒業生の新規利用が続いており、引き続き学校と連携し見学・実習の受け入れを行う。 夏休み期間に特別支援学校を対象にした見学会を実施する。 事業所の老朽化が進んでいる多様な下請け作業を継続し、手すきのない充実した作業提供を行う。 現在請け負っている平均工賃の減少額を抑えるため、作業量を増やし工賃額の維持に努める。 定員数増による平均工賃の減少額を抑えるよう、作業の充実のみではなく誕生日会などのイベントも定期的に企画する。 事業所への通所が楽しみとなるよう、作業の充実のみではなく誕生日会などのイベントも定期的に企画する。 新館でのユニバーサルスポーツ体験の機会提供。
③	新館利用者の新規獲得と地域交流	アンケートの結果などを参考にし、新たなターゲットへの広報活動を行い新規新館利用者の獲得に繋げる。 サポートセンター貴和と利用者の新館の利用機会を増やすことで、地域の新館利用者との交流の機会を広げ、共生社会の実現に貢献する。 市内の福祉事業所に向けての出張教室などを企画し、ユニバーサルスポーツの普及に努める。
④	活動報告や懇親・勉強会等の実施	お便りや映像、ブログ等で事業所の活動の様子や現状を報告する。 ご家族が知りたい情報を発信する勉強会等を実施するなど、ご家族が集まり情報交換できる機会を提供する。

行動計画 事業所名（サポートセンター貴和）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	在籍利用者への定着支援		ケース検討・相談支援・研修会等への参加 個別支援計画更新面談・フェースシートの更新											
②	新規利用者の獲得 作業活動の確保と充実 余暇活動作業活動		実習受け入 事業所の環境整備 夏休み見学会 手すきのない充実した作業提供 誕生日会・調理実習・季節のイベント等 ユニバーサルスポーツ体験・新館スポーツ教室への参加											
③	新館利用者の新規獲得 地域交流		新館 だより	交流 大会	交流 大会	新館 だより	交流 大会	交流 大会	新館 だより	交流 大会	交流 大会	交流 大会	交流 大会	体力 測定会
④	活動報告や懇親・勉強会等の実施		活動 報告	活動 報告	活動 報告	活動 報告	懇親 勉強会	活動 報告	活動 報告	活動 報告	活動 報告	懇親 勉強会	懇親 勉強会	懇親 勉強会

令和5年度 社会福祉法人明桜会 サポートセンター貴和 年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考	新年度式		芋の苗植え	事業所見学会 健康診断		
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	土	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	土	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	土	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	土	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考	障害者交流運動会 芋掘り 歯科検診	日帰り旅行	貴和クリスマス ス会 年末大掃除	新年会		年度末お疲れ 様会
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□明石市立総合福祉センター新館障害者スポーツ理解促進・体験事業

1. 施設の目的

- (1) 明石市が掲げる「やさしいまちづくり」や「共生社会ホストタウン」の発信拠点として、誰もができるユニバーサルスポーツを通じて、障害者、児童、高齢者、地域の人々等、年齢や性別、文化の違いに関わらず誰もが楽しく自由に集い、自然に交流のできるユニバーサル社会実現に向けての活動拠点を目指す。
- (2) ユニバーサルスポーツの広報活動に努め、市内における普及と理解促進を図る。
- (3) ユニバーサルスポーツ体験会、教室、交流大会を実施し、障害の有無に関わらず生涯にわたってスポーツを楽しめる環境を構築していく。
- (4) 各種競技において、競技者の技術向上を図る。
- (5) 市内に拠点を置く障害者スポーツ団体とネットワークを構築し、広く障害者スポーツの振興に寄与する。
- (6) 障害者の就労支援に寄与する。

2. 設置場所 明石市貴崎1丁目5番46号

3. 活動場所 明石市立総合福祉センター新館全館及び施設外多目的広場

4. 開館時間及び休館日

月曜日～土曜日午前9時～午後9時

日曜日・祝日午前9時～午後5時

休館日12月29日～1月3日

* 設備等のメンテナンスの時は臨時休館とする場合あり

5. 職員

スポーツインストラクター

1～2名

日常清掃作業員[月～金]

障害者1～2名

6. 活動内容

[常時活動]

施設内1階多目的ホール

車いす卓球・卓球・卓球バレー・ボッチャ・フライングディスク・車いすバスケット・STT・ストラックアウト・シッティングバレー・ふうせんバレー・ブラインドサッカー・モルック等

[週別体験交流会]

毎週木曜日(13:30～14:30)

ユニバーサルスポーツ教室及びレクリエーション

第2日曜日(14:00～15:00)

車いすバスケットボール体験タイム

第2・4火曜日(10:30～11:30)

明石市スポーツ推進委員会協力による健康体操&ACEボール教室

第3土曜日(10:30～11:30)

明石市スポーツ推進委員会協力によるウォーキング教室

[年間体験交流会]

ユニバーサルスポーツ交流大会(4回)

ユニバーサルスポーツ体験会(2回)

[その他活動]

- ・ 体力測定会(1回)
- ・ 新館だより発行(2回)
- ・ 障害者団体及び市民に対する広報普及活動
- ・ 市内、東播地域、県等の障害者スポーツ団体との連携
- ・ 出張ユニバーサルスポーツ教室
- ・ 館内清掃(障害者の就労支援)

□サポートセンター双葉

1. 施設概要

- (1) 事業所名 サポートセンター双葉
- (2) 設置場所 明石市二見町西二見605-2
- (3) 提供するサービスと利用定員
 生活介護20名
- (4) 職員定数
 管理者 1名
 サービス管理責任者 1名(管理者兼務)
 生活支援員 5名
 看護師 1名
 機能訓練指導員
 1名(看護師兼務)
 嘱託医 1名

2. 基本方針

一人一人がより自分らしく生きていくため、QOL(生活・人生の質)の向上を常に意識し、同時に専門職として常に“何をすべきか”を考え、ご利用者の望む暮らしの実現に向け取り組んでいきます。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 作業活動
 - ① 下請け作業
 - ② 自主生産作業
- (2) 体育的活動
 - ① 散策活動
- (3) 余暇活動
 - ① 行事
 - ② グループ外出
- (4) 健康管理
 - ① 感染症対策
 館内消毒の実施(毎日)
 - ② 健康診断(1回/年)
 - ③ 歯科健診(1回/年)
 - ④ 体重・血圧測定(1回/月)
- (5) その他
 - ① 利用者自治会(1回/3ヵ月)
 - ② 実習受け入れ
 - ③ 避難訓練(1回/2ヵ月)

5. 地域交流計画

- (1) 二見西まちづくり協議会への参画
- (2) 地域イベントへの参加
- (3) 清掃活動

6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名（ サポートセンター双葉 ）

今年度の目標		
	目標達成のために行う事	具体的な計画、実施方法
①	・意思形成・表出を常に意識した支援をする ・社会資源の積極活用を支援する ・余暇活動等を充実させる	●新たな体験や経験をしておくことで選択肢を増やし、人生が豊かになるよう支援を行う。また、言葉のない方にはわずかな変化をキャッチし、思いを理解できるよう努める。 ●短期入所や移動支援などの社会資源が利用できるように働きかけ、充実した時間が送れるように支援する。 ●感染症等に配慮しながら、これまでのような外出行事なども行っていく。
②	・垣根のない地域づくり	●二見西まちづくり協議会を通じて、近隣の住民や学校関係と交流等を行い、障害の理解・啓発を促進する。 ●（小学校との学習会・学校関係との街頭募金・地域のまつりや交流旅行など） ●地域清掃を継続して行うことで顔見知りを増やし、あいさつし合える関係を築いていく。
③	・支援力の向上	●必要とされるスキルや職員個人が興味を持っている分野の外部研修へ積極的に派遣を行う。 ●施設内での研修（支援に関すること・虐待や人権に関することなど）を年2回以上実施する。
④	・ご家族の安心を支える	●年2回以上、保護者勉強会を開催する。 ●双葉だよりを毎月1回発行する。

行動計画 事業所名（ サポートセンター双葉 ）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	・意思形成・表出を常に意識します ・社会資源の積極活用を支援します ・余暇活動等を充実させます		自治会	グループ プ外出		自治会			自治会			自治会			
②	・垣根のない地域づくり		地域清掃(月1回)												
③	・支援力の向上					地域交 流行事			地域交 流行事	地域交 流行事	地域交 流行事		職員 研修会	職員 研修会	
④	・ご家族の安心を支えます				勉強会				個々が必要とするテーマの外部研修に参加					勉強会	
			双葉だより(月1回)												

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考	手植え体験 グループ外出 健康診断 バーベキュー					
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	土	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	土	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	土	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	土	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考	歯科健診 グループ外出 芋掘り体験 日帰り旅行 保護者勉強会 二見防災イベ ント					
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□共同生活援助事業やまゆりの家

1. 施設概要

- (1) 事業所名 やまゆりの家
- (2) 設置場所
 - 第2: 西明石東町14-10
 - 第3: 魚住町西岡540-2
 - 第4: 大久保町大窪2489県営明石第2鉄筋105号室/106号室
 - 第5: 大久保町大窪2242-1
 - 第6: 貴崎2丁目17-9市営貴崎団地9号棟101号室/102号室
 - 第7: 大久保町松蔭99-1
 - 第8: 貴崎2丁目17-9市営貴崎団地10号棟101号室
 - 第9: 貴崎2丁目17-9市営貴崎団地10号棟102号室
 - 第10: 大久保町大窪747-1
- (3) 提供するサービスと利用定員
共同生活援助事業利用定員
50名
 - 第2: 男性 7名
 - 第3: 女性 5名
 - 第4: 男性 5名
 - 第5: 女性 5名
 - 第6: 男性 6名
 - 第7: 男性 6名
 - 第8: 男性 4名
 - 第9: 男性 5名
 - 第10: 男性 7名
- (4) 職員定数
 - 管理者(サビ管兼務)
1名
 - サービス管理責任者(支援員兼務)
1名
 - 生活支援員 11名
 - 看護師 3名
 - 世話人 35名

2. 基本方針

- (1) ご利用者の望み・夢・未来への想いに向き合い寄り添う。
- (2) ご利用者の暮らしを包括的な支援と資源で支える。
- (3) ご利用者が必要とする支援を提供できる体制と人材を育む。
- (4) ご利用者・ご家族・地域に信頼されるホームとなる。
- (5) ポジティブな「住まい・暮らしの選択」を提案する。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) アセスメントの強化を図り、ご利用者の望みや想いに沿った支援を展開する。
- (2) ご利用者の目線に立ち、その方の意思の形成と表出が行える体制を築く。
- (3) ご利用者が安心且つ快適な環境づくりと、包括的な支援を行う為の多職種連携を図る。

- (4) ご利用者の権利・尊厳を遵守し、ご利用者の立場に立った行動がとれる人材を育てる。
- (5) ご近所、自治会、地域を知る。またホームを知って頂く。
- (6) 多様な暮らし方を学び提案し実践に繋げる。親亡き後ではなく「自らの住まいを考える」風土を培う。
- (7) withコロナに適した生活様式・ホーム運営を行う。
- (8) ホームご利用者の当事者団体「あそび隊」のバックアップを行うと共に余暇の充実を図る。

5. 地域交流計画

- (1) 自治会活動等への積極的な参加を行う。
- (2) 「あそび隊」の活動を通じて、ボランティア育成にも取り組む。
- (3) 交流強化地域を松蔭(第7)・貴崎団地(第6・7・8)に設定し、各種地域団体との繋がりを構築する。
- (4) 大久保地区社協主催の「まち友」への参加を行う。

6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名(やまゆりの家)

今年度の目標		ご利用者の望み・夢・未来への想いに向き合う
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	アセスメント力・支援力を高める	・ご利用者個々へのアセスメントを深める為のスキル・テクニック向上の研修を行う。 ・支援員、ホーム職員(世話人)の意思統一・情報共有を徹底しチームアプローチを実践する。 ・多様な個人ニーズの解決に向け、ホームの対応力を引き上げる。 ・実践の振り返り・評価を目的とした報告会を実施する。
②	意思決定支援の強化	・ご利用者の権利と尊厳を遵守する為の職員育成を行う。 ・意思形成支援を強化する。経験や情報提供の機会を拡大する。 ・意思表出支援を強化する。チャレンジできる・失敗を受け止める体制づくりを行う。
③	地域の資源・認知度を拡大する	・自治会活動を通じて、やまゆりの家・グループホームの認知度を高める。 ・インフォーマルな資源を開拓する為に、人や団体との交流を積極的に行う。 ・地域貢献に繋がる行動をご利用者と共に行う。(清掃活動や近隣住民向けのイベント)

行動計画 事業所名（ やまゆりの家 ）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	アセスメント力・支援力を高める		- 各ホーム会議での研修 (世話人対象) - ニーズ、課題抽出					半期実践振り返り 実践報告会						
②	意思決定支援の強化		意思決定支援、人権研修 (支援員対象)			意思決定支援、人権研修 (世話人対象)								
③	地域の資源・認知度を拡大する		- 各ホームの定期自治会参加 - 清掃活動、イベントへの随時参加										近隣住民向け広報 イベント開催	

令和5年度 社会福祉法人明桜会 やまゆりの家 年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	憲法記念日 木 みどりの日	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考						
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	木	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	木	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	木	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	木	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考			12/2育成会クリスマス会			
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□共同生活援助事業所あいすくりーむの家

1. 施設概要

- (1) 事業所名 あいすくりーむの家・ショコラ・バニラ
 短期入所あいすくりーむの家
- (2) 設置場所 兵庫県明石市大久保町大窪2746-1
- (3) 提供するサービスと利用定員
 共同生活援助事業所あいすくりーむの家
 5名
 ショコラ 7名
 バニラ 7名
 短期入所 1名
- (4) 職員定数
 管理者 1名
 サービス管理責任者
 1名
 生活支援員(常勤換算)
 5.0名以上
 世話人(常勤換算)
 4.7名以上
 看護師 1名
 協力医 1名

2. 基本方針

- (1) 「その人自身を大切にした暮らしを支える」
 - ① その人らしさ、その人自身の素となるものを見つけ出す。
 - ② 素に寄り添い向き合う。
 - ③ 止まる事なく歩み続ける。
- (2) 「安心・安全な住まいの場となる」
 - ① 安心して住み続けていただく。
 - ② 必要な体制や環境を整える。
- (3) 「今を共に生きる」
 - ① 共有する時の流れの中で、その人の『今』『時』にこだわる。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 年齢を重ねる事で低下する身体機能や判断能力を考慮し、安全かつ快適な生活と住環境を提供する。
- (2) 看護師を24時間配置し、医療的なケアが必要になった場合でもグループホームでの生活が維持できるように支援体制を整えていく。
 - ① 短期入所の受け入れに対し、医療を含めた聞き取りを丁寧に行い安心してご利用いただけるように努める。
 - ② 日々の聞き取りからは勿論、利用者自治会(年6回)での意見収集や問題解決を図ることで安定した生活に繋げる。
- (3) その人の「時間・人生」をご利用者・ご家族と一緒に考える。またご家族との繋がりを大切にする
 - ① 家族交流会(年1回)。
 - ② いつか訪れる人生のターミナル期の体制を整えていく。

- (4) 感染症対策の徹底
 - ① 集団生活における感染症への正しい知識のもと適切な対応の強化を図る。
 - ② 感染予防委員会の開催を行う。
 - (5) 防災・防犯
 - ① 避難訓練(年1回)
 - ② シェイクアウト訓練(年1回)
 - ③ 救急救命講習(年2回かいのき合同)
 - ④ 地域の防災訓練参加(高丘東小校区)
 - (6) 身体拘束適正化委員会
 - ① 身体拘束適正化委員会(虐待防止委員会/年3回身体拘束適正化委員会/年3回虐待防止研修/年2回)
5. 地域交流計画
- (1) 地域行事(祭り・防災訓練・研修会等)への参加をはじめ、高丘地区との繋がりを構築していく。
 - ① 事業所内イベントで地域ボランティアの依頼を行う。
 - (2) 地域資源の活用(飲食店・美容理髪店・買い物・娯楽・コミセン等)と模索。
6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名(あいすくりーむの家)

今年度の目標		ご利用者の望みの実現と、最期の時の体制整理。
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	ご利用者の「夢」や「やりたいこと」を叶える	・ご利用者やご家族から汲み取った一人一人の夢ややりたいことを職員間で話し合い、全体で共有を行う。(ケース担当中心) ・実施できたことは報告会にて職員と共有し、またご家族にも報告を行なう。
②	看取りの体制の整理	・ターミナル委員会が必要な情報を整理し、ツールの作成を行う。 ・リビングウィルの再確認と見直し(2回/年・支援計画の面談に合わせて)。 ・ご家族に向けた勉強会の実施(1回/年・家族交流会に合わせて)。 ・職員に向けた研修会の実施(看取りの理解、他事業所での事例、終末期の身体兆候等)。 ・かかりつけ医、訪問診療医等の情報収集と整理。
③	家族と過ごす時間を大切にする	・家族交流会の実施(1回/年)。 ・あいすくりーむの家の機関誌の発行(4回/年)。 ・ご家族と一緒に過ごす時間を作る(自宅訪問・あいすでランチ会・外食・外出 等)。

行動計画 事業所名（ あいすくりーむの家 ）

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	ご利用者の「夢」や「やりた いこと」を叶える	職員間での話し合いと全体での共有 ・実施後の報告 ＊職員会議等で実施											
②	看取りの体制の整理	ターミナル委員会での情報の整理・ツールの作成・かかりつけ医、訪問診療医等の情報収集と整理											
			職員に向 けた研修 会		リビングウイ ルの再確認と 見直し		ご家族に 向けた勉 強会		リビングウイ ルの再確認と 見直し				
③	家族と過ごす時間を大切にす る		機関誌の 発行		機関誌の 発行		家族交流 会		機関誌の 発行		機関誌の 発行		

令和5年度 社会福祉法人明桜会 あいすくりーむの家 年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考					健康診断	個別支援計画
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	土	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	土	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	土	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	土	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考		家族交流会	12/2育成会クリスマス会			個別支援計画
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□生活介護事業所かいのき

1. 施設概要

- (1) 事業所名 かいのき
- (2) 設置場所 兵庫県明石市大久保町大窪2746-1
- (3) 提供するサービスと利用定員
生活介護・共生型通所介護
20名
- (4) 職員定数
管理者 1名
サービス管理責任者
1名
生活支援員(常勤換算) 7.6名以上
看護師 1名
事務員 1名
嘱託医 1名

2. 基本方針

- (1) 「五感を潤し、自然な時・空間を創造する」
 - ① 共有する時の流れの中で、その人の『今』『時』にこだわる。
 - ② 一人一人に寄り添い向き合う。
 - ③ 共感にとどまらず共創していく。
 - ④ 美味しく、楽しく、最後まで。
- (2) 「世代や障害の有無にかかわらず地域に根付き開かれた横断的な事業所を目指す」
 - ① 事業所の設備や人材の活用を地域住民に普及する。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 日中活動(レクリエーション活動・外出活動・サークル活動・創作活動・機能訓練・スノーズレン・入浴)
- (2) 社会活動(個別外出随時・地域行事参加・新館利用)
- (3) 余暇活動(季節行事・誕生日外出・小旅行・グループ外出)
- (4) 利用者自治会(要望・意見収集年6回)
- (5) 外部実習生の受け入れ(社会福祉士・介護等体験・保育士・トライやるウィーク)
- (6) 感染症対策の徹底(感染予防委員会・感染症への正しい知識と適切な対応の強化)
- (7) 防災・防犯計画(避難訓練/年1回シェイクアウト訓練/年1回救急救命講習/年2回地域の防災訓練参加・高丘東小校区)
- (8) 身体拘束適正化委員会(虐待防止委員会/年3回身体拘束適正化委員会/年3回虐待防止研修/年2回)

5. 地域交流計画

- (1) 地域行事(祭り・防災訓練・研修会等)への参加をはじめ、高丘地区との繋がりを構築していく。
 - ① 事業所内イベントで地域ボランティアの依頼を行う。
- (2) 地域資源の活用(飲食店・美容理髪店・買い物・娯楽・コミセン等)を模索する。

6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名(かいのき)

今年度の目標		かいのきを利用することで元気になり、楽しいと感じてもらえる場所にする。
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	日中活動の整理と充実	・日中活動チームでの組み立て。 ・普段それぞれの職員にその日の業務を割り当てて支援を行っているが、業務を割り当てずフリーで動ける日を定期的に作り、職員が実施したかった個別外出などの支援を実施。 ・個別支援計画を元に、「個」「グループ」「サークル」「運動」など活動のカテゴリーを分けて実施。 ・ボランティアとの協力。
②	スキルアップに向けた勉強会 委員会活動 チーム活動	・「食事について」の勉強会の実施(3回/年)。 ・「介護について」の勉強会の実施(職員会議にて)。 ・「看取りについて」の勉強会の実施(1回/年)。
③	地域への参加	・ボランティアの依頼(茶話会、体操、昔遊び 等)。 ・「あいすくりーむの家サポーター」(ボランティア)の募集。 ・地域行事への参加。 ・地域への広報(パンフレットの作成・配布・ブログの作成)。

行動計画 事業所名（ かいのき ）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	日中活動の整理と充実		日中活動チームでの組み立て												
			フリーの職員による実施												
			「個」「グループ」「サークル」「運動」など活動のカテゴリーを分けて実施												
			ボランティアとの協力												
②	スキルアップに向けた勉強会 委員会活動 チーム活動		食事に ついて	看取りに ついて				食事に ついて				食事に ついて			
			介護について												
			地域への広報												
			あいすサポーターの募集												
③	地域への参加		地域行事への参加												
			ボランティア依頼												

□すたじおぽっち

1. 施設概要

- (1) 事業所名 すたじおぽっち
- (2) 設置場所 兵庫県明石市魚住町金ヶ崎704-6
- (3) 提供するサービスと利用定員
生活介護 15名(登録数38名)
- (4) 職員定数
管理者(兼務) 1名
サービス管理責任者
 1名
生活支援員 7名(常勤換算4.4名)
機能訓練指導員・看護師(兼務)
 1名
顧問医 1名

2. 基本方針

- コンセプト(基本となる想い)【今日の花】
ビジョン(目指す未来)【自由に自分を表現できる社会】
使命(ぽっちのお役目)
【beyou(あなたのままで)】安心して表現できる場づくり
【present(届ける・現れる)】視点や世界をひろげる
- (1) 表現活動を通して、多様なあり方を認められる場所とする。
 - (2) 活動を発信し、障害のある方の社会参加を推進する。
 - (3) 地域と関わりを持ち、地域の一員・文化創造の一拠点となる。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 表現活動…絵画/立体/音楽など
- (2) 企画…展覧会/ワークショップ/地域活動への参加
- (3) 健康維持…散策/外出/調理実習
- (4) 商品制作/販売

5. 地域交流計画

- (1) 魚住まちづくり協議会への参加
- (2) 創作イベント(年1回)
- (3) ぽっちショップの活用(ものづくりサロン:年3回)
- (4) 体操教室サンぽっち(週1回)
- (5) オープンスタジオ(不定期)

6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名（ すたじおぽっち ）

今年度の目標		①ビジョン・使命に基づいて実践することで”望むくらし”を実現する。 コンセプト(基本となる想い):【今日の花】ビジョン(目指す未来):【自由に自分を表現できる社会】 使命(お役目):【be you】安心して表現できる場づくり・【present】視点や世界をひろげる。 ②ご利用者もスタッフも、やりがいをもって”はたらける”場をつくる。 ③活動と経営のバランスをとり、安定した事業所運営を行う。
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	行動指針の作成と浸透。	・行動指針作成(4～5月)。 ・コンセプトを広報物へ掲載する(インスタ・ブログ・チラシ等:5月)。 ・ミーティングでの共有と事業計画振り返りでの評価(事業計画会議:1月)
②	ご利用者もスタッフも、一人ひとりを知り・深める。	・全体会議の開催(支援会議+作品整理+懇親会:7月・12月) ・勉強会の実施(障害理解:6月・10月)/視察や研修(表現活動:年1～2回)
②	”みんながリーダー”個性を生かした活動や役割をつくる。	・ぽっちショップの活用(ものづくりサロン:年3回/ブックカフェ:年1回/定期展示:年3回) ・編集会議(2カ月毎/ぽっち通信の発行:年3回) ・環境ミーティング(2カ月毎) ・グループ展の企画(明石サービスエリア・正覚寺・シオヤコレクション・FLIPFLOP・えとなど)
③	稼働率の維持(80%)と節約。	・ご希望に応じて既存利用者の通所日数を増加し、定員を満たす。(4月～5月) ・ご家族との交流の場を設け、関係作りに努める。(家族勉強会:5月・1月) ・経営状況をスタッフと共有。一人一人ができることを考える。(ミーティングにて:7月・11月)

行動計画 事業所名（ すたじおぽっち ）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	行動指針の作成と浸透。		行動指針作成									事業計画会議		
②	ご利用者もスタッフも、一人ひとりを知る・深める。				勉強会	全体会議			勉強会		全体会議			
②	個性を生かした活動や役割をつくる。		編集会議	環境ミーティング ものづくりサロン	編集会議	環境ミーティング	編集会議	環境ミーティング	編集会議	環境ミーティング	編集会議	環境ミーティング	編集会議 ものづくりサロン	
			ぼっち内展示	グループ展		グループ展	ぼっち内展示	グループ展		グループ展	ぼっち内展示	グループ展		グループ展
③	稼働率の維持(80%)と節約。		利用日数調整											
				保護者勉強会		経営状況共有				経営状況共有		保護者勉強会		

令和5年度 社会福祉法人明桜会 すたじおぽっち年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	憲法記念日 みどりの日	土	火	金	月
5	水	金	日	水	土	火
6	木	土	ものづくりサロン	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	編集会議	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	環境ミーティング*	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考		作品展① (正 覚寺) ものづくりサ ロン(お絵描き 教室)	勉強会 作品展③ (シ オヤコレク ション)	作品展② (明 石SA)	金ヶ崎祭	
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	木	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	木	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	木	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	木	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考	うおずみ祭 創作ワーク ショップ 勉強会	作品展④ (FLIPFLOP) ブックカフェ	12/2育成会ク リスマス会 ものづくりサ ロン (年賀 状)	作品展⑤ (明 石SA) 左義長 保護者勉強会	ものづくりサ ロン (フェル ト小物づく り)	作品展④ (え となど)
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□相談支援事業所オアシス

1. 施設概要

- (1) 事業所名 相談支援事業所オアシス／相談支援事業所オアシスⅡ
- (2) 設置場所
オアシス 明石市東仲ノ町3-25アスパア明石東館207号
オアシスⅡ 明石市大久保町大窪あいすくりーむの家内
- (3) 提供するサービスと利用定員
明石市指定指定特定相談支援事業指定障害児相談支援事業
一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)
年間サービス利用計画見込み件数更新
367件モニタリング1037件
- (4) 職員定数
管理者 1名
相談支援専門員 4名

2. 基本方針

- (1) 法人使命と基本理念に則り、明石市を中心とした東播磨圏域を中心に相談支援事業所として適切な事業展開を図ります。
- (2) 利用者一人一人が豊かな生活を送ることができる地域社会の形成を目指して、行政及び関係機関と連携を図ります。
- (3) 利用者の基本的人権を尊重し、利用者本位の質の高い相談支援の提供に努めます。また、新たな社会資源の開発と地域社会における共生の実現のため、地域自立支援協議会に参画し積極的に運営に関わります。
- (4) 職員の能力開発や専門性の向上を図るため、計画的に人材を育成するとともに、職員に高い倫理観と規範意識を促し信頼される組織運営を図ります。
- (5) 効率的な経営と適切な収益確保を推進する事により、経営基盤の安定・強化に努めます。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 訪問相談／来所相談／電話相談を随時実施。(営業時間外の緊急時については、基本的には大地の家で相談を受け付けオアシスで対応する。なお、地域定着支援事業の利用者に対しては緊急事態への対応として別途連絡先にて対応する。
- (2) 新規／更新サービス等利用計画作成・継続サービス利用支援計画作成。
- (3) 個別支援会議を随時実施。
- (4) 明石市自立支援協議会及び東播磨圏域ネットワーク会議への参加。

5. 地域交流計画

- (1) ご利用者の利益のため地域との繋がりを重視し自治会活動等への参加をする。
- (2) ケースを通し、地域の民生委員や地域総合支援センターをはじめ地域住民との関りを持ちその人を中心とした多様なつながりが生まれやすくなるための環境整備を図る。
- (3) 地域の避難訓練・防災訓練等に参加する。
- (4) 明石障がい者地域生活ケアネットワーク活動へ参加する。

6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名(オアシス)

今年度の目標		具体的な計画、実施方法	
目標達成のために行う事			
①	意思決定支援の促進		・情報提供において、イラスト・写真・動画・経験の機会等、ご利用者本人やご家族にとってわかりやすいものを活用し説明を行う。 ・アセスメントツールとして「わたしの説明書」を作成する。 ・外部研修への職員派遣を行う。 ・「事例検討会」を年2回実施し、相談員としての相互成長を促し個々の支援力を高める。 ・オアシスご利用者435名に対し、国が示す基準期間を目安としたモニタリングを実施する。 ・ご利用者の状況に応じ、基準期間外でのモニタリングを設定、実施する。 ・職員業務の負担割合を見極め、ケース担当の見直しを行う。(モニタリング年間目標件数1037件)
②	適切な期間でのモニタリング実施		・既存のサービスでは調整困難と思われるケースについては、早い段階から行政を巻き込んだ動きを作っていく。 ・新たな事業所の見学・開拓等を行う。 ・明石地域自立支援協議会の活動への積極的な参加を通し連携を深める。
③	コーディネート力の強化		・法人内の事業所と取り上げたいテーマなどを相談しながら「学習会」を実施する。
④	個別ニーズから見えた共通の課題に対する取り組み		

行動計画 事業所名 (オアシス)

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	意思決定支援の促進	●「わたしの説明書」 (書式作成～試行～改良) ●事例検討会 (1回目) ●研修等への参加 (通年) ●事例検討会 (2回目) ツール完成											
②	ご利用者の状況に応じたモニタリング実施のために	●オアシス会議 (毎週火曜日・午前) ※情報共有・意見交換											
③	コーディネート力をつける	●新たな事業所の見学・開拓 ●自立支援協議会の活動への参加											
④	法人内事業所のニーズに合わせた学習会の実施	●学習会の実施											

令和5年度 社会福祉法人明桜会 あくと・オアシス事業所 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	憲法記念日	日	火	金	月
5	水	みどりの日	月	水	土	火
6	木	こどもの日	火	木	日	水
7	金	開所日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考				事例検討会	健康診断	
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	文化の日	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	土	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	土	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	土	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	土	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	日	月	水	土	日
備考	障害者雇用啓 発セミナー	明石地域雇用 支援連絡会	12/2育成会ク リスマス会 事例検討会			あくとボーリ ング大会
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□明石市障害者就労・生活支援センターあくと

1. 施設概要

- (1) 事業所名 明石市障害者就労・生活支援センターあくと
- (2) 設置場所 明石市東仲ノ町3-25アスパア明石東館207号
- (3) 提供するサービスと利用定員
登録者数 376名
- (4) 職員定数
管理者 1名
就労支援員 4名
就労支援アドバイザー 1名

2. 基本方針

- (1) 法人使命と基本理念に則り、明石市内を拠点に障害者就労・生活支援センターとして適切な事業展開を図ります。
- (2) 明石市内に在住する障害者及び企業・事業主に対して障害者雇用に関する理解を深め障害者が働き続けることができる環境を構築します。
- (3) 就労を希望される障害のある方に対し、就労支援及び就労に関わる生活支援を提供します。
- (4) 職員の能力開発や専門性の向上を図るため、計画的に研修を実施し人材育成します。職員に高い倫理観と規範意識を促し信頼される組織運営を図ります。
- (5) 企業内の就労場面に活動を限定せず、地域社会における共生の実現のため地域自立支援協議会等に積極的に関わります。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

- (1) 障害者の就労に関する相談を受け、就業生活全般に関する支援を行う。
- (2) 一般企業への就労と定着のため雇用事業所への訪問など就労支援を行う。
- (3) 実習はじめ、就労支援機関や障害者職業センターなどと連携し適職開拓・職業準備性を高める支援を行う。
- (4) 社会資源を活用し、働き続けるために必要な生活面の環境調整を行う。
- (5) 明石地域の障害者就労支援の拠点となるべく、労働行政・就労支援機関・教育機関等と会議を開催するなど連携強化を図る。
- (6) 就職時・退職時の支援及び再就職に向けた支援を行う。
- (7) 企業等を対象とした雇用啓発セミナーを開催する。
- (8) 登録者の余暇・語らいの場を提供し生活場面の充実を図るための支援を行う。
- (9) 明石市地域自立支援協議会しごと部会のワーキング活動に積極的に関わる。

5. 地域交流計画

- (1) 就労支援分野に偏ることなく、地域との繋がりを意識してボランティアグループ等のリスト化をすることや自治会活動等への参加をする。
- (2) 多様化・複雑化する地域課題に対応するためにも明石市内の地域総合支援センターとの関係づくりを行う。
- (3) 地域の避難訓練・防災訓練等に参加する。

6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名(あくと)

今年度の目標		相談者の「働きたい・働き続けたい」という思いの実現に向けた就労と生活の支援を行う。 ①企業との関係強化 ②関係機関との連携強化 ③数値目標：就職件数 35件、1年定着率 85%
	目標達成のために行う事	具体的な計画、実施方法
①	相談者の就労と生活の質の向上	・週1回定例のあくと会議を開催し、アセスメントの妥当性や必要な支援の組立に関し共通認識を図る。 ・就労アセスメントにおいて、あくと独自で出来ることを検討し形式・ツールを作成する。 ・「事例検討会」を年2回実施し、支援員としての相互成長を促し個々の支援力を高める。 ・「将来職業自立を目指す障害者の就労と生活の支援」にかかわる啓発セミナーを開催する。 ・相談者の相互交流の場として、あくとのつどい、あくとサロンを定期開催する。
②	企業へのアプローチ強化	・定着支援のための企業訪問について、全支援員が目標を持ち着実に実施する。 ・あくとの活動・役割を理解していただき、信頼関係をさらに構築する。 ・ハローワークと連携し、法定雇用率未達成企業への訪問を行い、啓発及び相談活動を推進する。 ・障害者雇用企業の現場担当者や、雇用を検討している事業主を対象とした雇用啓発セミナーを開催する。 ・広範囲な企業を対象に、実習先確保のための企業開拓を行う。(パートナー企業探し)
③	就労支援にかかわる関係機関との連携強化	・「明石地域雇用支援連絡会議」「雇用支援検討会(通称／TEAM:AMミーティング)」を定期開催する。 ・TEAM:AMミーティングの話題にあがるアイデアを、関係機関と共に具体的な活動に繋げていく。 ・明石市地域自立支援協議会しごと部会のワーキングに職員を派遣する。 ・障害者雇用と障害福祉サービスの利用連携において、障害福祉課やハローワーク等と密に関わっていく。

行動計画 事業所名 (あくと)

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	相談者の就労と生活の質の向上		●あくと会議 (毎週木曜日・午前)				●事例検討会 (1回目)				●事例検討会 (2回目)			
			●つどい (毎月末土曜/12月を除く)											●交流会
			●サロン (毎月第3金曜/4・12月除く)											
②	企業アプローチ		企画・準備											
			●企業開拓 (通年)											
③	関係機関との連携		商工会議所との打合せ											
									●雇用啓発セミナー					
			5/18	7/20	9/21	11/16	1/21							
			●チームA会議	●チームA会議	●チームA会議	●チームA会議	●明石地域雇用支 援連絡会	●チームA会議						
			連携会議											

令和5年度 社会福祉法人明桜会 あくと・オアシス事業所 年間予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土	月	木	土	火	金
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	憲法記念日	日	火	金	月
5	水	みどりの日	月	水	土	火
6	木	こどもの日	火	木	日	水
7	金	開所日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	月	水	土	月	木	日
備考				事例検討会	健康診断	
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	文化の日	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	開所日	木	日	水	木
8	日	スポーツの日	金	月	土	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	土	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	土	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	土	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	日	月	水	土	日
備考	障害者雇用啓 発セミナー	明石地域雇用 支援連絡会	12/2育成会ク リスマス会 事例検討会			あくとボーリ ング大会
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

□明石市立木の根学園

1. 施設概要

- (1) 事業所名 明石市立木の根学園
- (2) 設置場所 兵庫県明石市大久保町大窪2752
- (3) 提供するサービスと利用定員
 - たんぽぽ工房利用定員 60名
 - 生活介護事業 50名
 - 就労継続B型 10名
 - ひまわり工房利用定員 60名
 - 生活介護事業 50名
 - 就労継続B型 10名
 - 短期入所 6名
- (4) 職員定数
 - 統括施設長 1名
 - たんぽぽ工房管理者(兼務) 1名
 - サービス管理責任者 1名
 - 職業指導員1名
 - 生活支援員 27名(常勤換算17.1名予定)
 - 看護師 1名(0.1名)
 - 理学療法士 1名(0.3名)
 - 事務員 2名
 - 顧問医 1名
 - ひまわり工房管理者 1名
 - サービス管理責任者 1名
 - 職業指導員 1名
 - 生活支援員 22名(常勤換算16.1予定)
 - 看護師 1名
 - 理学療法士 1名(0.3名)
 - 発達心理士 1名(0.3名)
 - 事務員 1名
 - 顧問医 1名

2. 基本方針

- (1) ご利用者の声や意思を汲み取る姿勢を基本とし、一人一人の人生がより豊かになるよう個別支援の充実を図る。
- (2) 職員は、意思決定支援、行動障害者支援について、専門知識と技術の向上に努め実践する。
- (3) ご利用者のライフステージに応じた活動提供を行うと共に、これからの暮らしについての選択肢を拡大していけるように関係機関と連携を図りながらサポートする。
- (4) 障害福祉の発展に向けて、明石市と現状の課題共有や改善に向けての具体的な提案を行う。

3. 重点目標及び行動計画(別紙参照)

4. 活動内容

「ご利用者一人一人のニーズや思いをくみ取り、集団の中でも個々の強みや特性を活かした多様な活動プログラムを提供していく。」

(1) 意思決定支援

- ・ 利用者自治会について、エンパワメントの視点を持って運営のサポートを行い抽出した意見を活動に反映する。
- ・ 職員への研修会、取り組みについての報告会を実施し、現場での実践の定着を目指す。

(2) 行動障害者の支援力向上に関する取り組み

- ・ 強行スーパーバイザー養成基礎講座、強度行動障害支援者養成研修、行動援護従事者研修の修了者をコアメンバーにし支援会議を定期的に実施する。

(3) ユニバーサルスポーツの導入

- ・ ユニバーサルスポーツ(ボッチャ、ラダーゲッター)を日中活動で行う。また、スポーツイベントを年2回開催し、ご利用者と成果を共有できるようにする。

(4) 個別支援の充実

- ・ 個別支援計画について、「今とこれからの暮らし」を見据えた支援内容となるよう再アセスメントを行う。
- ・ 介護ニーズに対応できるよう、短期入所棟の環境整備(手すり設置、浴室設備の見直しなど)を行う。

(5) 健康管理に関する取り組み

- ・ 健康診断(年1回)
- ・ 内科検診(年2回)
- ・ 歯科検診(年1回)
- ・ インフルエンザ予防接種(年1回)

(6) 防災・減災に関する取り組み

- ・ 避難訓練(年2回)
- ・ シェイクアウト訓練(年1回)
- ・ 市民救命士講習(年1回)

(7) 職員の育成に関する取り組み

- ・ OJTによる新任職員の計画的育成
- ・ 中途採用者(非正規)の研修体制の整備
- ・ キャリア、業績目標に応じた研修の実施
- ・ オンライン研修の計画的活用
- ・ ミーティング、記録作成などより機能的な遂行ができるように事務所環境を見直す。

(8) 委員会活動

- ・ 虐待防止身体拘束適正化委員会(年3回)
- ・ 感染症対策委員会(年2回)
- ・ 防災対策・BCP策定委員会(年3回)
- ・ 利用者自治会運営・意思決定支援委員会
- ・ 献立委員会

5. 地域交流計画

(1) 地域団体の見学会実施及び障害理解啓発をする。

(2) みんなの給食、やまて祭り、清掃奉仕活動、地域イベントでの販売等を通じて地域交流を行う。

(3) 明石障がい者地域生活ケアネットワークの活動に参画する。

6. 年間予定表(別紙参照)

令和5年度事業所事業計画書

事業所名（明石市立木の根学園）

今年度の目標 (事業所が目指す状態、達成したい事)	
	一人一人の「その人らしい暮らし」を実現していくためにご利用者主体の日中活動・生活の支援を行う。 そのために職員は本人中心・意思決定支援を理解・実践できるように専門知識・技術を高める。
具体的な計画、実施方法	
①	ご利用者を中心にした支援の実践に向けた人材育成 意思決定支援勉強会(年2回)、実践報告会(年1回)を実施する。 行動障害支援各種研修修了者による支援会議を実施する。(月1回) 中途採用者の研修体制を整備する。(7月までに)
②	グループホームや他福祉サービスの情報提供及び安心して体験や見学ができるように支援をする。 ユニバーサルスポーツイベント(年2回)を実施する。 相談支援事業所、他関係機関と連携しながら日中活動のみに留まらず、在宅での生活が維持・継続できるように個別の困りごとやニーズの把握し、可能な限りサポートしていく。(随時)
③	事業所の活動報告と意見交換会(4月) 家族勉強会(10月) 個別面談による再アセスメント(7月～8月)

行動計画 事業所名（ 明石市立木の根学園 ）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	ご利用者を中心にした支援の実践に向けた人材育成		支援会議 役職者会議、工房会議 にて内容を検討	勉強会 支援会議 調整	勉強会 支援会議 導入	事例検討会	支援会議	支援会議	支援会議	支援会議	支援会議	実践報告会	事例検討会	事例検討会
②	ライフステージに応じた活動と環境の提供を行う		個別支援の状況に応じて、GH・他福祉サービスの情報提供、体験、見学について随時 スポーツイベント スポーツイベント 介護ニーズの整理											
③	ご利用者の「今とこれらの暮らし」について、ご家族ともに考える機会を作る。		・4月 事業所の活動報告と意見交換会 ・10月 家族勉強交流会（GHについて） ・7月～8月にかけて個別べ面談による再アセスメント											

令和5年度 社会福祉法人明桜会 明石市立木の根学園 年間予定表 (案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	土 新年度式	月 憲法記念日	木 金	土 日	火 水	金 土 開所日
2	日	火	金	日	水	土
3	月	水	土	月	木	日
4	火	木	日	火	金	月
5	水	金	月	水	土	火
6	木	土	火	木	日	水
7	金	日	水	金	月	木
8	土	月	木	土	火	金
9	日	火	金	日	水	土
10	月	水	土	月	木	日
11	火	木	日	火	金	月
12	水	金	月	水	土	火
13	木	土	火	木	日	水
14	金	日	水	金	月	木
15	土	月	木	土	火	金
16	日	火	金	日	水	土
17	月	水	土	月	木	日
18	火	木	日	火	金	月
19	水	金	月	水	土	火
20	木	土	火	木	日	水
21	金	日	水	金	月	木
22	土	月	木	土	火	金
23	日	火	金	日	水	土
24	月	水	土	月	木	日
25	火	木	日	火	金	月
26	水	金	月	水	土	火
27	木	土	火	木	日	水
28	金	日	水	金	月	木
29	土	月	木	土	火	金
30	日	火	金	日	水	土
31	新年度式	水	木	月	火	金
備考			自治会選挙		健康診断	
稼働日数	22	23	22	23	23	22
休止日数	8	8	8	8	8	8
職員公休日	9	9	9	9	10	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	日	水	金	月	木	金
2	月	木	土	火	金	土
3	火	金	日	水	土	日
4	水	土	月	木	日	月
5	木	日	火	金	月	火
6	金	月	水	土	火	水
7	土	火	木	日	水	木
8	日	水	金	月	木	金
9	月	木	土	火	金	土
10	火	金	日	水	土	日
11	水	土	月	木	日	月
12	木	日	火	金	月	火
13	金	月	水	土	火	水
14	土	火	木	日	水	木
15	日	水	金	月	木	金
16	月	木	土	火	金	土
17	火	金	日	水	土	日
18	水	土	月	木	日	月
19	木	日	火	金	月	火
20	金	月	水	土	火	水
21	土	火	木	日	水	木
22	日	水	金	月	木	金
23	月	木	土	火	金	土
24	火	金	日	水	土	日
25	水	土	月	木	日	月
26	木	日	火	金	月	火
27	金	月	水	土	火	水
28	土	火	木	日	水	木
29	日	水	金	月	木	金
30	月	木	土	火	金	土
31	火	金	日	水	土	日
備考			12/2育成会クリスマス会 庭務処理	健康診断(変則職員のみ)	内科検診	
稼働日数	23	22	23	22	21	23
休止日数	8	8	8	9	8	8
職員公休日	9	9	10	10	8	9

令和 5 年度 社会福祉法人明桜会 事業計画（案）

（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

人材確保チーム

育成・キャリアアップチーム

強度行動障害者グループホーム事業推進チーム

SDGs推進チーム

令和5年度法人重点事業年間計画(案)					
チーム名	人材確保	育成・キャリアアップ	強度行動障害者グループホーム事業推進	SDGs推進	
主担当	宮崎・岡平	加地・三村	鳥居・吉田	渡邊・室本	
取り組み内容	①年間を通じた計画的な採用活動の実施 ②合同就職説明会・就職フェアへの出展 ③法人説明会・見学会の実施 ④採用試験の実施 ⑤内定者フォローのイベント・研修実施 ⑥関係機関と連携し中途採用者向け面接会の実施	新任職員。OJT担当者研修(前田) 2・3年目職員研修(浅井) 中堅職員ワーキング(奥村) 副主任ワーキング(加地)	①国庫補助申請書類作成～申請 ②研修等の企画実施 ③対象者選定及び面談(ニーズ抽出～設計へ反映) ④職員配置・案件作成・予算作成 ⑤全職員、ご家族向け広報 ⑥設計士との意見交換 ⑦上記、行政と協議 ⑧令和6年度準備(対象選定方法・入札等)	SDGsを啓発することで、社会福祉法人の担う役割や意義を理解し、法人内・外へ浸透させていく。	
4月	第1回新卒採用試験の実施	OJT担当者研修	(R4, 2月～)基本設計完了・個別ニーズ抽出完了・行政協議	チーム編成・アイデア出し 助成金申請	
5月		新任1か月振り返り 中堅職員ワーキング	支援体制。必要人員案作成・行政協議		
6月	ハローワークミニ面接会の実施	副主任ワーキング(リスク)※第3金曜	全職員・保護者PR広報誌作成・行政協議	理解・啓発のための勉強会	
7月	県社協主催福祉の就職フェアへの出展	副主任ワーキング(サービス)※第3金曜 新任3か月振り返り 2年目職員研修	国庫補助申請		
8月	第2回新卒採用試験の実施 内定者交流会の実施	3年目職員研修 中堅職員ワーキング	理事会報告	ポスター作成・掲示	
9月		副主任ワーキング(リスク)※第3金曜 新任6か月振り返り	先進地視察		
10月	県社協主催福祉の就職フェアへの出展	副主任ワーキング(サービス)※第3金曜 2年目職員研修	強度行動障害に関する研修会		
11月	県知協主催人材確保セミナーへの参加	3年目職員研修 中堅職員ワーキング		トウギャザーフェス開催	
12月	内定者交流会の実施	副主任ワーキング(リスク)※第3金曜			
1月	ハローワークミニ面接会の実施	副主任ワーキング(サービス)※第3金曜	国庫補助審査結果 実施設計契約・建築確認		
2月	内定者向け事業所見学会の実施	新任1年振り返り	理事会報告		
3月	内定者向け研修会の実施				

令和5年度チーム事業計画書

チーム名（人材確保）

今年度の目標		具体的な計画、実施方法
	目標達成のために行う事	
①	令和6年度採用の新卒・経験内定者を10人確保する	年間を通して、外部の合同就職説明会やフェアへの出展、求職者個々のニーズに即した法人説明会や施設見学会を実施し、内定者の確保に努める。
②	内定者向けイベント・研修会の実施	内定者に向けて定期的なイベント（研修や事業所見学）を実施し、入職前から法人理念や使命の理解浸透を図る。年間を通して内定者との接点の機会を設けて内定辞退の減少に努める。
③	福祉未経験層に向けた、お仕事説明会やイベントの企画実施	ハローワーク明石と連携し、年2回のお仕事説明会兼個別面接会を実施する。また、多様な働き方に併せて採用パンフレットやチラシの工夫を行い、福祉未経験の層に興味・関心を持ってもらうための広報を強化していく。

行動計画 チーム名（人材確保）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	新卒・経験職員の内定者10人確保		・外部就職フェアへの出展（県社協・県施設協会主催） ・福祉系大学への出張講義、学内説明会への参加 ・法人説明会・施設見学会の実施 ・採用試験の実施											
②	内定者イベントの実施						内定者交流会				内定者勉強会		法人事業所見学会	内定者研修会
③	福祉未経験層に向けた、お仕事説明会やイベントの企画実施				ハローワーク面接会			ブログHPでの広報案内				ハローワーク面接会		

令和5年度法人重点事業活動計画

チーム名（育成・キャリアアップ）

今年度の目標		キャリアパス制度の共通理解を育み、制度の定着と効果的な運用を行う。
優先度	目標達成のために実施する事	具体的な方法
①	副主任研修	- 各事業所ヒヤリハット報告の副主任間共有を実施 - 副主任間で情報共有を行うことで、職務についての理解を育み実践に繋げる。 - 副主任ワーキング - 職務権限規程「副主任の職務」(9)～(12)の実践報告の実施 - サービス向上(9)(12)とリスクマネジメント(10)(11)の2グループに分け、実践報告・共有を行い、副主任の職務遂行能力の向上を目指す。 ※(9)接遇マナー (10)虐待防止 (11)安全管理 (12)支援力・サービス向上
②	中堅職員研修	- 中堅職員ワーキング - 法人理念・使命とキャリアパスフレームの理解 - 人材育成・リーダーシップ研修の実施 - 後輩職員の人材育成における実践報告と意見交換会の実施
③	新任(1～3年)研修	- 新任(1～3年)研修の継続と計画的実施 - 新任OJT研修・OJT担当者(4年目職員)研修の実施 2年目・3年目職員のフォローアップ研修の実施

令和5年度チーム事業計画書

チーム名（ 強度行動障害者グループホーム事業推進 ）

今年度の目標		強度行動障害者の暮らしを支えるグループホーム建設に向けた準備を整える。 (アクションプラン・法人事業計画の目標を達成する)
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	国庫補助金の申請を行う。	明石市施設整備人材育成室と協議し国庫協議申請にむけた資料作成を行う。
②	強度行動障害に関する知識や理解を深める研修等を企画実施する	職員を対象とした強度行動障害に関する研修を企画実施する。特性等の専門知識のみのならず、行動障害のある方の地域生活の維持向上の視点をもった職員を育成する。全職員へ向けての広報を定期的に行い、法人重点事業であることの周知理解を深める。
③	対象者のニーズに沿った設計を行う	入居希望者の選定・面談(ニーズ把握) 入居希望者のニーズを本人・家族・関係者で共有し、設計士交えて基本設計を行う。
④	持続可能な経営と支援体制案を作成する	移行に向けた取り組みの他、移行後の暮らしが本人の望む暮らしに近づき長続きする形であることを前提に、コアメンバー・ご家族・設計士・行政と協議をすすめていく。具体的には、必要な職員配置案作成するとともに、本人ニーズを充足しきれない部分の協議を行政とも連携し検討していく。

行動計画 チーム名（強度行動障害者グループホーム推進事業チーム）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	国庫補助申請						↕							
②	職員対象「強度行動障害に関する研修企画」								↕	↕				
③	対象者選定・個別特性・ニーズ集約・支援体制・広報・次年度準備等		↕										↕	
④	基本設計案作成（設計士）		↕											
⑤	実施設計（設計士）											↕	↕	
⑥	明石市協議（強度行動障害者像・運営補助金等）		↕										↕	

令和5年度チーム事業計画書

チーム名 (SDGs推進チーム)

今年度の目標		SDGsを啓発することで、社会福祉法人の担う役割や意義を理解し、法人内・外へ浸透させていく。
目標達成のために行う事		具体的な計画、実施方法
①	チーム編成・アイデア出し	・4月：推進チーム結成。 ・昨年度の取り組みの振り返りと、今年度の実施計画作成。 ・イベント等で連携する事業所担当者の選出。 ・明石市団体登録・助成金申請。
②	内部へ向けた啓発活動	・SDGs勉強会 年1回：6月 ・啓発ポスター作成。 年1回：8月 - 各事業所から募集し、作成・掲示。
③	外部へ向けた啓発イベント	・11月：トウギヤザー★フェス開催。 ・昨年、関連した団体との意見交換会。
(明桜会の当ではまるゴール) 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 8働きがいも経済成長も 10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう		

行動計画 チーム名（SDGs推進チーム）

No.	項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	チーム編成・アイデア出し		●チーム編成・アイデア出し（定例会：月1回）											
②	内部へ向けた啓発活動		●勉強会（各事業所担当者とともに） ●ポスター作成（8月）											
③	外部へ向けた啓発イベント		●トウギヤザー★フェス											
④														

社会福祉法人 明桜会 職員配置表（R6年度）

	大地の家	法人 事務課	サポートセンター課		定着支援	こねくと	のぞみ	サポートセ ンター翔	すたじお ぼっち	オアシス	相談部門		貴和	双葉	木の根学園		ひまわり	あいすくりーむの家																	
			定着支援	こねくと							のぞみ	サポートセ ンター翔			すたじお ぼっち	オアシス		オアシスⅡ	あくと	生活介護	就労B	生活介護	就労B	やまゆり	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9	第10	かいのき	パニラ・シンコラ・あいすくりーむ
業務執行理事																																			
運営企画室長																																			
総括責任者																																			
管理者	三村 寛裕	岡平 ゆかり	山崎 正幸		加地 裕明		室本 早知	鳥居 健一	渡邊 貴美	鳥居 健一	宮崎 泰生		伊丹 修	吉田 透																					
	古川 裕明	前田 英依			前田 雅洋		宮崎 裕一	谷一 智子	瀧田 眞一	寺本 圭子														宇都宮 明香											
副主任	小林 愛	吉田 有希	松本 麻由		吉田 智子		松本 裕一郎	喜多山 英樹																小松 亮大											
	酒井 秀尚	谷口 悠太			福本 伸雄		本田 祐介	喜多山 英樹																小松 亮大											
	吉川 典宏	宮前 弥寿子	高山 裕子	山本 曜	西川 航輝	佐々木 拓	波々伯郎 涼	伏見 由紀	丸尾 由梨枝	澤田 麻希	寺田 俊哉	西海 敦史	北村 心	波々伯郎 祥	佐々木 潤	松尾 美佐江	水野 公彦	水田 教子	田中 喜代美	藤本 恭輔	素泉 寺守	小西 千代子	則包 文子	向井 祐二	福田 恵理										
	平崎 雅也	光藤 陽海	大福 友香	大福 友香	小出 美香	名村 亮	大塚 剛子	池内 由香	塚田 零智	寺田 晶子	宮崎 泰生	佐々木 清美	松本 章汰	小川 郁弥	妹尾 はるみ	河合 まゆみ	丹波 かほる	石浜 朋子	田中 喜代美	阪口 由美子	橋本 美智代	野口 儼子	山本 由美	深田 涼介	住江 しのぶ										
	成田 昂平	山崎 蒼司	武員 香織	武員 香織	櫻井 かおり	山崎 蒼司	新谷 幸生	赤松 佳代	赤松 佳代	矢木 千映子	大西 初美	岡田 清美	上田 勇真	蛭子 元貴	水野 昭子	稲村 洋子	下妻 一宣	岩田 富美子	遠藤 俊二	蒲生 歌子	東 得三	野口 儼子	山本 由美	網中 奈緒美	素泉 寺洋子										
	武田 佳輝	山本 裕子	大西 泰史	大西 泰史	大西 泰史	大西 泰史	河原 久美子	田寺 宗次	秋定 明彦	大西 初美	大西 初美	田寺 宗次	古川 美保	伊東 美鈴	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	北村 知香	中地 風香	鈴木 定子	鈴木 定子	鈴木 定子	鈴木 定子	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	藤田 彩夏	六田 夏希	伊東 知子	伊東 知子	伊東 知子	伊東 知子	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	好田 愛	好田 愛	永井 奈津美	永井 奈津美	永井 奈津美	永井 奈津美	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	大森 彩加	山下 瑠菜	橋本 結菜	橋本 結菜	橋本 結菜	橋本 結菜	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	神出 博隆	内藤 玲子	松本 由美	松本 由美	松本 由美	松本 由美	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	岸本 久美子	藤山 こずえ	高橋 純	高橋 純	高橋 純	高橋 純	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	村田 柳太郎	小林 基樹	福田 礼子	福田 礼子	福田 礼子	福田 礼子	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	瀧本 綾野	安井 綾子	蓮池 啓子	蓮池 啓子	蓮池 啓子	蓮池 啓子	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	加地 智枝	野崎 友香	秋田 久美	秋田 久美	秋田 久美	秋田 久美	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	藤田 友香	兼近 千秋	土田 和正	土田 和正	土田 和正	土田 和正	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	兼近 千秋	土田 和正	土田 和正	土田 和正	土田 和正	土田 和正	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	工藤 真知子	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈	前田 味芳	鳥居 明	奥野 リス子	下妻 一宣	岩田 富美子	炭多 隆子	蒲生 歌子	望月 光代	野口 儼子	山本 由美	市橋 美希	素泉 寺洋子										
	堀田 健二	堀田 健二	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	西嶋 真啓	弘浦 孝	外山 久美子	秋定 明彦	石本 律子	石本 律子	外山 久美子	西脇 里奈																						